明治三十六年四月二十二日發行（明治二十年十一月本會創立）

婦人衛生雜誌

第百六拾壹號

第三種郵便物認可明治廿六年四月四日
每月一回十五日發行
内務省許可明治二十一年二月二十八日

私立大日本婦人衛生會

婦人衛生雜誌

第百六拾一號 目次

本會講演

●齒の衛生　ドクトル 久保田誠麿

衛生雜話　醫學士 久保猪之吉

●口紅●賞ふべき色●皮膚の色●日光と皮膚の色●エスキモー人種の色●皮膚の色素の効用●色素は何から來るか●色素の増す場合●皮膚の色を美にする法

質疑應答

●子宮癌●臺灣會員へ●子宮內膜炎●中將湯●麥めし●腦力を強健にする事●色の黑きを白くする事●鳩むれ●姙婦長途の旅行夫婦及出產後長途の旅行同室●子宮に關する事●脊柱彎曲症●皮脂症●皮膚の色を美にするホーレル水の事●腋臭の事●齒ぎしりの事●タカヂアスターゼ分量●肝臟病に就て●肺病輕快者の注意●便秘●小兒の便秘●下腹のできもの其他雜件

大日本婦人衛生會記事

●本會四月例會●高崎●新潟●山形●茨城支會景況

●本支會入會者

●本支會入會轉居等

●本支會役員會員姓名一覽表

本會總會及春季懇親會通知

來五月二日（第一土曜日）午后一時より本會總會を兼ね春季懇親會を小石川砲兵工廠內後樂園涵德亭於て左の順序に依り擧行致し候（晴雨共）仝所は御承知の如く古來よりの名園にして其幽邃閑雅なること都下に其比を見ず候今は容易に觀覽を許さゞる義に候へ共今回特に本會々員の爲め觀覽許可せられ候間左の各項御了承の上御家族御誘引御來會被下度候也

●追而　會費は御一名金參拾錢●御出席の方は來三十日迄に御誘引の人數をも御通知の事、

●本會徽章御所持の方は御忘れなく御佩用の事●衣服は御質素

●今回は役員改撰の期に當り候に付改撰投票は本誌姓名簿により來三十日迄に本會事務所宛御發送の事

●後樂園觀覽心得　園內へは靴、草履、駒下駄の外入るを禁ず●喫烟は建物の近傍及落葉、柴草等ある場所にてなすべからず●折詰殼竹の皮紙屑等を漫りに園內へ投棄すべからず、

●建物を損じ樹木を傷つくる等總て風致を害する行爲あるべからず

●開會順序

一、開會　午后一時　二、役員撰擧　三、事務及會計報告

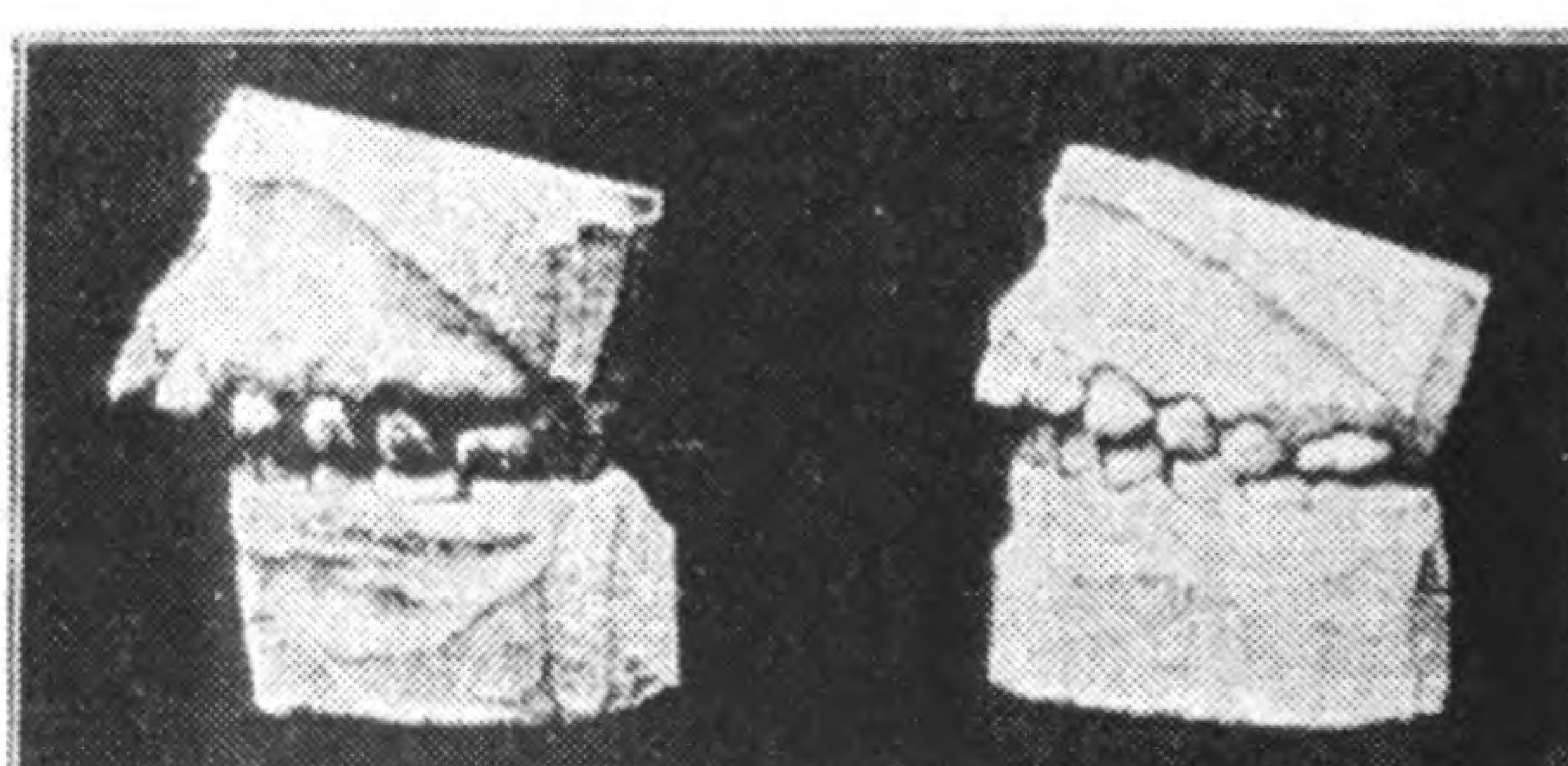
四、後樂園觀覽　五、休憩　六、餘興

明治三十六年四月

私立 大日本婦人衛生會



(イ)突出セル上顎ヲ有セル人ノ顔ノ形



(ニ)矯正后ノ顎ノ變化

(ハ)矯正前ノ顎ノ状



(ロ)矯正術后同人ノ顔面變化セル状

演說

●齒の衛生

ドクトル　久保田誠殿
伽速記事務所員速記

滿場の貴婦人諸君、私は至つて淺學な身であるにも拘らず本日此名譽ある大日本婦人衛生會の御例會に於て貴婦人諸君の前に立つことが出來ましたのは誠に私の光榮の至りてございます、唯今から齒の衛生と申すことの御話を致す考でありますが、至つて訥辯でございます上に斯う云ふ演說など丶云ふことは一向心得て居りませぬ、それ故十分御話も出來兼ねるかも知れませぬが、極く暫時の間御淸聽を願ひたうございます、

皆樣も御承知の通り、凡そ如何なることを成就致すにも先づ第一に身體が健康でなければなりますまい、陸海軍にまれ敎育にまれ商業にまれ工業にまれ農業にまれ、健康と云ふことが實に第一の資本でございます、古語に申す通り、健康の精神は健康の身體に宿ると申します、そこで其身體を健康に維持するには一體何が必要でございませうか私の申上げるまでもなく健康なる消化器でございませう、乃て此食物と云ふものは──　私共日常なくてならぬ所の食物と云ふものは、先以つて齒に依つて咀嚼せられ、咀嚼中に唾と共に混合して混和中に此處に一つの作用が起つて一度消化致します、然る後に胃の中に嚥込むべきものでございます、それ故に若し一朝齒を失つた時には多くは此消化作用が不完全になつて、胃病であるとか腸の病氣であるとか、種々なる消化器の疾病に罹ることがございます、それ故に齒は建康の基であると云ふことを申しても強ち過言ではございますまいと考へます、斯く云ふ譯でありま

すからして歯の衛生と云ふことが忽諸にしてならぬと云ふことは今更私が喋々致さないでも御分りになつて居ることとであります、が此世の中の多くの人──大多數の御方は歯科衛生と云ふことに重きを措かないて、歯の攝生と云ふことは誠に輕んじて居るやうに考へます、デ皆様の前で申上げるのは恐入りました譯でありますが、或人になりますと云ふと此歯の腐蝕などゝ云ふことには一向頓着なくて歯が腐敗するも更に意に介せずと云ふ者がございます、尚ほ甚だしき人になると、前歯が脱落致して更に無くなつて、さうして容貌に關係致すやうになつて初めて歯科醫の所に駆けて參る、それならばまだ宜しうございますが、歯科醫に就て要求して言ふのには此前歯の欠損を補つて舊に復するやうにと云ふ要求を致しまして、奥歯のやうなものは食物を咀嚼するのには困るが容貌に關係なく、奥の方にあつて人の目にも觸れぬから、先づ是は此儘に擱いて呉れと云ふやうなことで、更に意に介せずと云ふと云ふお方が多くございますのは實に遺憾の至りでございます、近來衛生々々と申すことが一般に盛になりまして、津々浦々までも衛生々々と申して居ります、殊には御會──大日本婦人衛生會は益々盛になりまして、貴婦人間に至る所衛生論が高まつて居りますのは實に賀すべきことでございます、併し吾々歯科醫の専門として居る所の歯の衛生と云ふものは、此日本帝國の帝都たる東京の人すら、口に其事を唱へられたのを伺つたことはありませぬ、是は實に我日本帝國の第一汚點だらうと考へます、此歯と云ふものは何處までも大切にしなければならぬものでありますから、實に私は終身歯の衛生と云ふことに就ては盛に御勸め申し、さうして又力のあらむ限り皆様にも平常歯が健康であるやうに申したいと考へます、此歯の保護と申すことに就きましては、先づ歯はどう云ふもので成立つて居るか、構造はどう云ふものであるか、蝕歯と云ふものがありますが、どう云ふ譯て蝕歯に罹るかと云ふことを御承知になつて居るこ

とが必要だらうと考へます、それ故先づ簡單に歯の構造と云ふことから御話を致します、

歯と云ふものは一躰四つの質から成立つて居ります、第一琺瑯質、第二象牙質、第三白堊質、第四歯髄、此四つであります、そこで第一の琺瑯質と云ふのは最も歯の組織中で堅いものでございます、皆樣の御口に現はれて居ります所の歯の周圍の光つて白く艶のある堅いのは即ち琺瑯質であります、之が減つて仕舞ふとか無くなるとかすると、象牙質と申す第二の質が現はれて來る、是は恰も象牙のやうなものであるからさう稱へたので、此質は琺瑯質よりは堅くないのみならず非常に感覺が鋭ふございます、過敏でございます、故に琺瑯質と云ふ上部の質が欠損すると第二の象牙質が現はれて非常に水が浸みるとか、湯が浸みるとか、異樣の感覺を懐かしめるやうになるのであります、第三の白堊質と云ふのは更に弱いもので口内に現はれて居りませぬ、是は歯齦のズット奥に這入つて居るものでございます、歯根の周圍を覆ふて居る質で是は口内に現はれて居りませぬ、併し歯齦が退いて歯が抜けて來ると、口内に現はれるやうになつて來る、是が第三の質であります、第四の歯髄と云ふのは所謂髄です、骨の中にも歯の中にも肉のやうなものがあります、此髄と云ふものは非常に神經や血管が澤山這入つて居りまして、さうして丁度肉のやうに軟かなものでありま す、歯が齲歯に罹ると段々腐蝕が進んで髄が現はれて來るやうになつても或は現はれかゝつたやうになつても黴菌が中に這入つて行くと歯髄炎と云ふ痛を感ずる病氣になります、

以上は先づ歯の構造であります、そこで此歯に二種類でございます、大別すると乳歯、永久歯、斯う云ふ風になる、乳歯と云ふのは俗に乳呑歯と申して小供の口にある所の歯であります、それから永久歯と云ふと大人即ち吾々の持つて居る所の歯でございます、歯乳の方は大人の歯よりは數が少なうございます、出來も薄弱で誠に脆い、數は二十本でございま

す、即ち上顎に十箇下顎に十本、斯う云ふ風に二十箇でございます、ソコで是等の二十箇の小供の乳歯はどう云ふ風であるかと云ふに、是は大變調べることが必要でございます、乳歯と云ふものは誠に弱く出來て居りまして、一體の形が總て弱ッヽに出來て居る、從つて腐蝕し易いのであります、小供が生れて七ヶ月或は又八ヶ月間に先以て下顎に二箇の前歯が發生し始める、下顎が早くつてそれから一二ヶ月しますると上顎の前歯が生へ始める、小さい方のを御覽になると分ります、歯はさう云ふ順序に生へて參ります、それから段々奥歯が生へる、此奥歯の發生する時は二年とか三年とか——先づ三年位ゐて生へ揃ふやうになります、先づ玆に子供の口に二十個の乳呑歯が生へます、然るに此世の造物主は不思議の働を小供の歯に與へて居りますからして、知らず識らずの間に此根が一種の作用に依つて吸收消滅する段々取つたやうな工合に此乳歯根が無くなつて仕舞ふ、さうして歯の頭の部分だけが歯齦の上に殘つて居りまして、丁度中が穿れて參つて恰も烏打帽を斯う云ふ上に載せたやうに（辯士此の時机上に帽を置く）中が穿れて居る、斯うなつて來るやうに構造が出來て居ります、そこで乳歯の下の方から永久歯即ち私共大人の有つて居る永久歯が發生して參ります、それが發生して來るに從つて乳歯の根が段々少なくなつて變つて來る、之を永久歯と交代すると申します、併ながら皆様の小供の時の歯が皆必ずさうなると云ふ譯ではない、何となれば或方の乳呑歯は齲歯に罹つて腐蝕する、腐蝕すると其歯髓と云ふものが現はれて來る、或時には死にます、死んだ歯となる、さうすると誠に珍らしい作用を以て根が吸收して段々無くなる、所謂歯代りの準備を爲す、斯う云ふ妙な作用が止つて仕舞ふ、それ故に大人の歯が横に出たり色々な所へ出たりする、亂排歯と云ふものが出來て來る、そこで生理的の作用が完全なるのは——乳歯の根が能く吸收すれば木の根腐つた如く歯齦の上に拔かゝつて來るやうになるのが本統の完

全なもので、私が小供の時に床の中で齒を三つ拾つたことがあります、さう云ふ風に變つて行くのが完全の生理的作用であります、そこで斯う云ふ風に行かないで、永久齒が横に出るとか前に出るとか云ふ場合には、速かに吾々齒科醫に就て乳齒を拔かねばならぬ、乳齒を拔去ると云ふことに就ては非常に皆様が御注意なさらなければならぬ、能く小兒の乳呑齒がグラ〱して居ると云ふと父母が糸を以て乳齒を縛つてヒヨツと拔く、斯う云ふことを能くなさるが是は宜しくありませぬ、どう云ふ譯かと云へば此乳齒が吸收して永久齒の生へて來る順序でございます、其時期が參らない中に乳齒を拔去つて仕舞ふと、其時は宜しうございますが他日齒並が惡くなつて、所謂亂排齒と云ふやうなものが出來る、亂排齒の最大原因は濫りに乳齒を拔去つて仕舞ふたからであると云ふことは吾々齒科醫社會の定論になつて居ります、故に乳齒を拔くと云ふことに就ては十分注意しなければなりませぬ、是は乳齒の話でございます、

それで吾々の永久齒、大人の齒は三十二でございます、即ち上顎が十六個下顎の方が十六個、是は或方は二十八箇のお方もある、或方は二十九箇、それはどう云ふ譯かと申すに此中に親知らずと申す齒がございます、是は年齢は十七八歳から初めて發生する齒であります、十七八歳より前の方にはそれが無い、それ故に數が少ない、併し十七八歳から三十五六歳か四十歳までに親知らず齒が生へる、さうすると三十二となる、琺瑯質とか象牙質とか云ふものは乳齒のとは、稍々成分は違つて居りますが種類は同じてあります、

扨て此吾々の有つて居ります乳齒なり永久齒なりは非常に固くつて容易に腐蝕しさうにも思はれますまい、然るに齲齒と云ふものが出來て之がために腐蝕する、一體是はどう云ふ譯でございませうか、即ち齲齒と云ふものがどう云ふ譯で吾々の齒に發生するか、是は申上げるまでもなく皆様も能く御聽きにな

つて御存知の如く黴菌の作用であります、口內には御承知の通り種々の黴菌があります、口內は黴菌の本陣と申しても宜しいやうに考へて居ります、實に種々雜多な黴菌がある、此中でミラー氏と申す齒科醫の發見したデルタヲルカニズムと云ふ黴菌がございまして、齒の溝とか面の溝中に附着して居つて、其處は勿論日常食事すると齒滓が出來るから、其處で段々と繁殖して黴菌の一種の跋扈に依り激しい作用に依つて齒の面とか溝とか云ふ所へ、滑かでさうして丁度膠に類したやうな薄い膜が出來ます、此膜は黴菌の作用に依つて出來たもので、唯だ召上がる食物が附着してあると思つては間違ひであります、既に黴菌の作用でさう云ふものが出來上つたのでございますから、之を取去らなければなりませぬ、是が乳酸と云ふ酸性のものでありまして、誠に堅さ鋼鐵の如き琺瑯質が殉の一瞬の間に溶かされる、斯う云ふ風になつて行くのが齲齒の初めであります、そこで黴菌がです、此薄い膜のやうなものを拵えるのには四時間も五時間もの長い間待つて居りませぬ、實に數十分一時間と云ふやうな僅々間でございますからして、食後直に其齒の掃除をなさらないと黴菌が貴下方の齒を襲ふのです、それ故食後には直に掃除しなければならぬ、齒の掃除と云ふことに就きましては是より今少し後に申述べやうと思ひます、

そこで此の齲齒になる時期がある、或年齡の方になりますと齲齒が非常に起り易い、又或年齡の方は起らない、斯う云ふ時期があります、是までの實驗に依ると男女共に先づ年齡八九歲から十六七歲頃までが齲齒に罹り易い時期である、殊に御婦人は男子と違つて齲齒に罹るやうな口內の變化が多い、是までの學說に依ると非常に堅い所の齒を所有して居る人は柔かい質の惡い齒を所有して居る所の人より齲齒に罹り惡い、即ち抵抗力が強い、黴菌が攻擊することが出來難いと云ふ學說でございましたけれども、近來一般に信じられる說に依ると、齒の構造如何に拘らず、齒が固くて丈夫で非常に健固に出來て居や

うが、非常に薄弱であらうが、そんなことには格別關係はない、成程關係が凡てないぢやあないが是よりも寧ろ其黴菌の作用を扶ける口の中の或る狀態に由ると云ふことになつて居る、して見ると是までの考とは違つて、齒が幾ら固くつて皆樣が非常に丈夫な齒を所有して居ると云ふて御油斷してはいけませぬ、斯う云ふ譯であるから怠らず齲齒の豫防をしなければなりませぬ、併してす、齒科醫に就て十分用心し齒科醫におかゝりなさつて防禦に防禦をして齒科醫と共に共同してやつても或時には齲齒の發生が激しくつて今月も來月もかゝり、又次の月にも一ツ蝕ると云ふやうに齒科醫も患者も落膽する事があります、どうしたら宜からうと云ふ位に幾ら熱心にやつてもさう云ふことが起るのがある、是は其の方の身體の狀態で、所謂口內の黴菌の作用を扶ける或狀態がある、斯う云ふ時には如何とも爲し難いのであります、それ故に私が皆樣に御注意を申上げたいのは、どうか皆樣が御名々に御信用遊ばす齒科醫に付いて共心同力し一致して皆樣の齒を十分健固に終身保てるやうに防禦しなければならぬと思ひます、

次に申上げたいのは、長い顏の方は此の齲齒に罹り易い、是は些と變な申上げやうてありますが、決して私は皆樣のお顏を眺める譯ではありませぬが――長い顏のお方は丸い顏の方よりも齲齒に罹り易い、と云ふのは長い顏の方は自然顎が狹いです、狹くなければ其顏に匹敵致しませぬ、それが爲に齒の配列が惡くなるのであります、是は自然の理でございます、齒の大きさと云ふものは固より發生する時から一定して居るから、顎の形が狹いとなると齒が十分發生する餘地がない、故に齒の排列が惡くなるからして誠に食物が附着し易い、又食事した後て掃除もし惡い、斯う云ふ譯であるから從つて齲齒に罹り易い、それてございますから亂排齒は男女共に十三四歲から十五六歲までの若い中に矯正しなければならぬのであります　デ御承知の通り昔此の排列の

惡い齒を直すには拔齒器と申す機械で拔去つたものであります、今日では最早さう云ふ時代は過ぎ去つて、我々は最近の學理の力を利用致しまして人工の力を齒に加へてさうして痛みなく齒の排列を直すことが出來るやうになりました、そこで齒の排列ばかりでございませぬで、顎の形までも變化させることとが出來る所謂突出上顎、顎が五分も突出して居るものを齒に力を入れてさうして好き恰好にして差上げることが出來る、又齒の位置を變へず根の位置のみを後方なり横なり前なりに變化して、鼻の中隔の骨――即ち前鼻棘です、こんな骨なども爲に變化して鼻の形が變化して上に向いて居た鼻が下に向くやうになる、斯う云ふ風に齒科醫の力で近來出來るやうになつたのであります、此法に依ると所謂鼻の鼻尖から線を引いてそれから下は變化することが出來る、之を發見したのはシカゴの大學のドクトル、ケースと云ふ者でありまして、此人は先年ユダヤの娘で鼻の下が非常に醜くて若しも顎まで好くなつたならば非常に美しい者に出あいました、然るに上顎が突出して居りました爲に之にケース氏は非常に力を振つて其形を直して亞米利加にも稀なる美人と變化さしてやつたと云ふことを米國の新聞に謠はれたことがございますが、私はケース氏と共に此事を研究して來ましたが、或時私は戲れに「私も將來日本に歸つたならば貴下方ばかりでなく我大日本帝國の人々の顏の變化を來して、將來日本帝國は美人の帝國にならむ」と言つて一笑を致したこともある、兎に角亂排齒を矯正するのは齲齒の豫防にもなつて、啻に容貌變化ばかりではございませぬから、出來得べくんば十五歳から十七歳位までの若い中に矯正した方が御得策でございませうと思ひます、

乃で斯う云ふ風に私は此齲齒豫防に就て申上げるのです、既に齲齒に罹つたのは後で注意をしても轉んだ後の杖です、何の役にも立ちませぬ、御承知の通り疾病と云ふものは未發に防ぐのが大切でありますから、皆樣に最も今日御注意なさるやうに御願ひ

致したいのは乳呑齒のことでありまする、世の母たる或方は小供の乳齒と云ふものは生代るものであるから是は腐蝕しても差支ない、腐つたら拔代ると言ふて格別注意されない、腐つたら拔いて仕舞へば又良い齒が生へて來ると云ふやうに考へて居る方も或はありませうが是は非常な誤解であります、御承知の通り乳齒と申しても小供が矢張り食物を嚙んでさうして嚙む間に唾と混ぜて消化させると云ふことは大人と更に違ひがございませぬ、殊に小供の齒は常に健固に保ち食物が能く齟嚼せられ能く消化するやうにしなければならぬ、何となれば吾々の胃と違つて小供の胃は隨分軟弱いものでありますから、乳齒が腐蝕して拔けると云ふと、是が爲に能く嚙んで召上がることが出來なくなり、胃熱とか何とか消化器の病氣になる、其れ故に身體の發育にも關係して來る、斯う云ふ譯であるから乳呑齒を非常に大切に護つて、腐蝕しないやうにしなければならぬのは私は母たる者の義務であると思ひます。

ソコで乳呑齒の掃除法です、成程これは私共と違つて小供のことであり殊に二ッ三ッ四ッ五ッと云ふやうな小さな小供でございますからして、自分自身て掃除すると云ふことはなか〳〵六ヶ敷い、故に他の者が注意してやらなければなりませぬ、殊に二三歳の小供衆が御乳を召上つた後では齒を掃除して上げなければならぬが、斯う云ふことを爲さるお方は誠に少ないやうに見受ける、斯く申すと或方は仰しやるでせう「なか〳〵ソンなことが出來るものでない」尤も小さい方のは度々召上がるのでありますから掃除が一々出來ない、近頃は我國の貴顯――殊に衞生會の會員の御方などの御宅では、衞生のことに注意をなされまして、小供のお乳や何かも一定の度を極めて上げられるやうなことを耳に致して居りますが、ソコでもう一つどうか齒科醫の言葉を御容れ下さつて、乳齒と云ふものを食後或は乳の後で必ず掃除することを御實行願ひたいのであります、さう云ふことは出來ないと仰しやる方もございませう

が、私の考では出來ないのではないしないのであると申上げたい、幾ら衛生上の法律があらうが何があらうが勵行をしなければ何んの効能もございませぬ、何處までも實行すると云ふことが必要でございます、デ最も簡單で皆さんが爲さり易い法がある、是は先づ乳を上げた後で軟かなガーゼでも宜しい、又は晒の布でも宜しい、勿論一度沸騰して十五分位消毒したものでなければなりませぬ、それを以て或は微温湯でも宜しいから、それに浸して乳呑歯を拭つて上げる、是では未だ本統ではない、實は何かアルカリ性の液を浸して乳呑歯を拭つて上げると安全の策でありますが、些と是は八釜しい、即ち石灰水のやうなものなれば何處でも求められるから、之をガーゼに浸して乳呑歯を拭つて上げるのが一番宜しからうと思ひます、併しながら御實行が六ケ敷いです、私共も所謂醫者の不養生と云ふて、歯科醫でさへ自分の歯を掃除することは六ケ敷い、故に貴下方の御實行は餘程六ケ敷いことでありませうが、どうか御實行なすつて世の中の人の摸範と爲り先導となつて、さうして之を勸めて小供の歯が健固で、歯の痛い爲に泣かせないやうに御注意なさるやうに願ひたい。

（以下次號）



醫學士　久保猪之吉

○口紅

紅もお化粧の一つとして缺く事の出來ないものです。昔から紅も用ゐられた。唇の色は紅の燃ゆるやうなのを貴ぶ、蒼白いのや、紫がゝつたのは人のいやがる所です。ですからそれを補はうとして紅をぬる。口紅といふのがそれです。加賀の千代女がよんだ發句にかういふのがある。

紅さいた口もわするゝ清水哉

之は清水の奇麗な、底の玉も見ゆるといふやうなのが、熱い日の旅にあつた時、覺えず口して之れを飲み、口紅のはげるのも覺えないといふのでしやう。口に紅をぬるばかりで無く顔にもぬる、目のふちにもぬる。うすくぬればおしろいと混つて櫻色、桃色になる。此といふのも色の美なるを貴ぶといふ事を證明してゐます。

○貴ぶべき色。

アフリカの中央に住て居る黒人は漆のやうな顔を最上とするそうですが、おしろいや紅で天然の色を補はうとする人種には、それと違ひます。お茶を呑ても色が黒くなるとおそれるではありませんか。しかしよく考へますとおしろいや、紅で胡魔化した顔で滿足はできません、洗へば剝げる。コスレば取れる。ですから、洗ッても、はげず、コスッても取れないやうな櫻色、桃色を貴ぶべきでしよう。ましてや、おしろいのわるいものは、餘病を發するに至るのですからどうしたならば、此貴ぶべき色をえられるかといふ事を述べます前に、皮膚の色といふものはドーして出來て來るか、皮膚といふものは、顯微鏡で見たらどういふものかといふ事を陳べましやう。」

○皮膚の色。

皮膚の色はドーして青くなッたり、赤くなッたりするか、又黒くなッたり、白くなッたりするかといふ事を考へれば、決してオしろいや紅をぬるのと同じでないといふ事は分る。湯に入れば、上ッた後で顔の色が赤く奇麗になる。又た酒をのめば、眞赤になる。又永く病氣をすれば白くなる。急に澤山の血を失す時、(假令ば血を略くか、血が下るかの後で)顔が蒼ざめる。なぜ、コーいふ風になるかと申せば、血の流れかたの多い少いによるのです。逆上性の人はイッても顔を眞ッ赤にしてをり、貧血性の人は眞青な顔をして居る。ですから、紅の力を借りないで、適當な赤い色を出すには、血のまはり方が適宜でなければならない事は明かです。」

次に、皮膚の中には、色素といッて、茶色をしたや

うな、粒々が澤山ある。それが多ければ多い程、皮膚の色は黒くみえ、少なければ白く見える。亞非利加の黒人のやうなのは、非常に色素が多く、白子といふ病氣の人は全身皆白い。又病氣によッて、此色素の多く出來る事があります。假令ば腎臟病のやうなものになると顏の色が澁色になる事がある。」

次に關係するのは皮膚の厚さです。薄ければ薄いほど、下の地が透いてみえる。即ち血の色が見えて赤く見える、足の底のやうに厚い所は見苦い。」

又いふ迄も無く掃除をよくする事が必用です。顏を洗はない人はありませんが、石鹼でも使ッてよく洗はなければ、垢が十分にとれない。而して種々なお腫物も生きたり、黑くなッたりします。又光澤も出ません。キヂが細かくならないからです。」

○日光と皮膚の色。

いくら黒人種の兒でも生れながらにして黑い譯でない。他の人種と同じやうに、薄赤い色で生れる。所が少し立ッと、日光と空氣との作用から、黒い色になッて來る。大人になる年になれば、はじめて漆のやうな美人になるそうです、又、暗い所、假令ば椽の下に伸びた草をご覽なさい、莖から葉迄皆白ッポい、しかるに日光のよく當る所に伸びる草木は、濕りそうな綠色をもッてゐます。皆色素と日光との關係を證據立ッて居るものです。極手近い話には、海水浴に居ッて分る。一日裸體で日に當れば、如何な眞白い、人でも黒くなる。所謂、日光に燒けるといふ詞が、眞理です。」

○「エスキモー」人種の色。

皮膚の色は人種によッて異なる。否土地氣候によッて違ふのです。イクラ「アリヤン」人種でも熱帶に生るれば、オ釋迦樣のやうに黒くなり、希臘や羅馬に生るれば白くなる。しからば、かの世界地圖で、地球の北極にある。綠島の住民、「エスキモー」人種のやうなのはドーてあらうかと申すに、彼等決して白くない。しかも彼等は茶褐色の顏色をして、毛は飽く迄くろく、眼も亦黒い。しかるに、彼等の周

國は雪の原、氷の山で取り圍れてをる。そして北極洋の寒いく場所である。それなら、なぜ黒いかといふに理屈があるのです。ゴ存知の通り、北極では、日本などのやうに晝や夜やと規則正しくないのです。晝は六ヶ月つゝき、夜は六ヶ月つゝく。晝の間は太陽がいつでも出てをる。それですから、寒くッても太陽の光は絶えない。又夜の六ヶ月の間でもその三ヶ月位は朝焼け夕焼けの光が見える。又のこりの三ヶ月は月も出れば、星も光る。又、奇麗な極光といふ光もみえる。それで熱は足りなくとも光に事缺くといふ事は無い。ですから、溫帶の國々よりも却て色が黒い位なのです。」

○皮膚の色素の功用。

前に日光に當れば、色素が增して來るといふ事をオ話しましたが、何の必用があッて增すかといふ事は問題です。「ホーム」と申す人が、コーいふ試驗をした事がある。腕を出して色の白い所に強い光を集めて當てた所がその場所が非常に痛て、水ぶくれになッたといふ事です。しかるに黒人種に同じ試驗をしても平氣で感じが無い。しかし、黒人の中に乳のやうに白く色素の無い場所を有ッて居ッたものがあッた。所がその場所に光をあてると痛くッて、膿を持ッたといふ話です。是等の例から考へて見ますと、色素のある爲めに、日光が皮膚に活く力を弱めらるゝ譯です。」

○色素は何から出來るか。

日光が當れば、色素が增すといふ事は分りますが何がドーなッて色素にかはるかといふ事はあまり分ッて居ない。とにかく色素の粉の這入ッて居るのは皮膚を作ッて居る細胞です。その中に點々に入ッて居る。コレはその細胞の中に出來たものか、他に出來たのを取ッたのか、ハッキリ分りません。しかし、色素を分析してみますと、酸素、水素、窒素の外に炭素があります。炭素は割合に多い。即ち百の中六十、七十は炭素です。之が黒く見えるのと關係ありましやう。又此色素は其成分が血液の成分と甚た似

て居ます。ですから、原は血液から來るに違無い。即ち血が變化したものでしやう。しかし、ドーいふ譯で變化するか判然しません。

〇色素の增す場合。

日光の爲めばかりでなく、熱の爲めにも色素が增すものです、之は勿論、日光のやうに著しくは無いが、「ジェームス」といふ人が「メリー、ランド」といふ島で一人の黒人の女にコーいふ事を實驗しました即ちその人は眞白な場所を身體のある場所に持ッて居ッた。所が、其所で、その白い場所を火に近づければ後で、その所が黃色になるのを見た。」又營養によッても、違ふそうです。獄の中などで蒼白くなるのは日光のよく當らない計りでなく、食物が不足するからなそうです。」

又時期によッて、色素の增す事がある。殊にゴ婦人がたに於て見る所ですが、オ身持になると、額の所や、乳房や、股などに、色素がまして、黑くなる。それてよく姙娠を知る事が出來るものです。」

〇皮膚の色を美にする法。

西洋の諺によくいッてある。「丈夫なのが美しい」と、ホントーにそうです。新聞の廣告などに瞞されて、色を白くする法とか何とか、色々の事に迷ッてはいけません。苟も廿世紀の賢夫人として立たうといふ方々が、山師の廣告などに迷ッてはならない。健全即ち美で、他に美の眞髓があらう筈はない。世間に行はるる法は、オしろいや、紅をぬるに非ざれば、身體に毒になる事です。學問の有る人のなすべき事は、おしろいや、毒物やを用ゐないで、正味美しくなるのは、ドウしたならばよいかといふ事です。前にオ話し申したやうに血の廻りがわるければ、蒼く病身らしくなる。それゆえ斷えず、血の氣があるやうにせなければならない、それには、身體全體を丈夫にするのが、一番です適當な運動をして、適當な滋養物を食べるといふのが肝要てす。しかし、直接に皮膚を汚くするのは垢が溜るといふ事です。此垢を溜めないやうにし、皮膚に血の流れ

をよくするのは、皮膚を洗ッてふくのが一番よろしい。洗へば洗ふ程、垢はとれ、キメは細かになり皮は薄く丈夫になる。從ッて血の氣が見える。後てユックリオ話しやうとおもッて居ますが。毎朝水て身體全體をふくといふのが皮膚の爲めにも大きによろしい。石鹸てよく垢を落した上に手拭を絞ッて、それて身體を殘らず、摺るのです。そうすれば皮膚が眞赤になッて血がよく通ふ。さむければ戸を立ッて室の內てオヤリになるがよろしい。又夕方は湯に入ッて石鹸て洗ふ。（最も石鹸は上等のものがよろしい）かやうに磨き立てれば、玉不磨無光と同樣て、皮膚もつやく／＼して來る。そうなりますと、オしろいや、紅は却て邪魔になる、美しきキメのよいのをかくして仕舞ふ事になる。かうなッて始めて眞正の美しい皮膚を得る事が出來ましせう。本を務めないて末に走ッてはしけませせん。之から追々、色をキタナクする、蕁麻かすや・ホグロや色々のオ話をしませう。



質疑欄

●●●●質問注意　質問中診察せざれば應答し難きものは答解の限りにあらず又答解に遲速あるは登載順に都合ある爲めと御承知を乞ふ●質問は端書にても封書にてもよろしけれど單に質問のみをわかりよく認むる事●質問に姓名を出すことを好まざる方は匿名にても差支なし●本號の雜誌に登載する分は凡前月十五日迄に申込まれしものとす

▲尙御質問の際は男女の性年齡及簡短の經過記入ありたし

質問者　東京一會員

▲子宮癌腫と申す病氣は如何なる容躰に候や伺度候

●答　先づ子宮に出來る腫れ物の主なるものは癌腫と筋腫てすと云ふことを申上げて序に筋腫の事も申しませう筋腫と申すのは下腹がひきつり漸々に腹の中に塊まりが現はれまして月經の樣に血の下るものてありますす癌腫は之れと違かいまして多くは子宮の口より發するものが多く其發し方も子宮

のロのたん〳〵大きくなる性質と腐敗するのとあります其容躰は白き色又は赤色の下り物あるばかりて其他痛み痒ゆみもなく飲食に差ひもなく半年位病みまして少しも變りがない位です此病氣も前の病氣と同じく凡そ百人に三四人位はある割合の病ひで此病は四十才より五十才位の間に多くある病ひで若い人には少い樣です筋腫は腹痛み血下るも夫れが爲め直ちに死に至ることは稀れて多くは治療を施すことが出來ますけれども癌腫の方は患部苦痛なき爲め手後れとなるときは到底死を免れぬものであります

臺灣の一會員へ

●臺灣會員の問ひに結婚十年に近きも一子を擧げ得ず云々のことは事秘密の事に屬して居りますから此誌上にては御答解申すとは出來ませんが住所番地姓名を明記して御申越しあれば兎も角御兩人共適當の醫師の診察を乞はれなば其目的を達し難きにはあらざるべし又高崎消印のある地方の一會員なる方の問ひも詳細の事は此誌上にては申し上げ兼ねますが兎に角小説の濫讀夜ふかし喫烟及其尤も惡しき習慣を嚴しく監視矯正し朝夕に冷水摩擦を行ひ惡友を遠ざけ運動をなさしめ總べて其誘因となるべきものを避けらるべし適當の法を用ゐれば治癒せざることなし

質問者　す　み　れ

▲問　子宮内膜炎と申す病氣は外科的手術の外に治療法ありや

▲二、中將湯と申す賣藥は無害のものにて幾分かは効力あるものにや

▲三、麥飯は脚氣によしとの事なれば用ひ度けれども數月來慢性腸加答兒にてなやみやう〳〵近頃全快に近づきし位の者には不消化のおそれなきかと考へ候が如何

●答　子宮内膜炎の療法には外科的療法も内科的療法もありますけれども外科的療法の方が經過が早いのです併し其の病症により内科的療法を用ゐるもあり外科的を用ゐるもありそは醫師の見込に

あるとてすが要するに夫の淋毒其他充分原因の取り去られぬ塲合には又最發し易きものてす

●二、答　中將湯と申す藥の成分はまだ精査しませんから何共御回答は出來兼ますが、賣藥て假令へ病いを癒やす程の成分なきも已の信じたる藥は精神作用により多少の効能のあるものてす中將湯に限らず實母散ても淸心丹てもよく老人の合ひ藥と申して何か氣分がわるいと服用してなほることがあります或る話しに赤糸の細片を呑ましてコレラ菌と申しましたら現に腸胃カタルを起した例めしがあります又賣藥に毒藥とか劇藥と申す物なれば容易に民間には賣る事の出來ないものてあります

▲三、答　麥めしは或る意味より申せば不消化かも知れませんが又或る意味よりは胃の中に永く止めて置かない所謂消化のよい方てすが腸加答兒に御悩みの后ちとあれば食パンを召し上ッたなら宜しからうと思ひますから之を御勸め申します

▲京都某會員及八王子の一會員の方へ

●腦を强健明晰にするには適當の滋養分を取り運動及睡眠を適度になし冷水摩擦等を施こし本誌第百五十八號質問欄にある腦力使用の程度等を御承知にて保養せらるれば自から腦は强健となるものてあります

●又色の黑き質を醫學上白くする良法なきやとの御質問てすが西洋の婦人の内には己れの色を白くならしめん爲め或る劇藥少許を服用するとのことてすが是れは分量を少しても誤るときは忽ち死に至るものてすまた中毒を起しますから遺憾なから御敎へ申すことは出來ませぬ尙下のホーレル水の答を御一讀下さい

質問者　神奈川一會員

▲問　私の弟某は俗に鳩むねと申すものに御座候がこれは肺病になりやすく候や大丈夫に候や又胸としてよきものに御座候や

●答　鳩胸と申すは既に胸廓に異常を來して居りますから肺病になり易すく寧ろ肺病の疑ひなしとは

申されません勿論胸としてはよきものではありませんされども其年齢によりましては之を矯正する法のないてはありませぬ

質問者　東京會員一女子

▲問　私知友目下姙婦に候處東京より國元九州迄汽車にて長途の旅行致し候爲母躰胎内兒共差支なきや（身躰平日左迄健康にあらず）尙出產後幾日を經ば又長途の旅行及夫婦の同室差支無之候や

●答　受胎しましてから最早六ヶ月になりましたなら長途の旅行は見合せられよ若し餘義なき場合には途中三四泊をなして行かるべし但し三ヶ月以内のときは絕對的に中止せられたる方安全てす出產後は普通四週間は常臥せられべく六週間も經しならば前の如き旅行なさるゝも又同室せらるゝも差支ありませぬ

質問者　東京　無　名　女

▲問　去一月結婚後局部より白き粘り液出て惡しきにほひ致し心地あしゝ如何の次第にや又身躰に障りなく候や

●答　白き粘液の出つるは尿道よりするもあり又は腔よりの事も又子宮よりする事もありますから排泄物を實地撿査せねばよく分りませせんが夫の方に淋疾等の憂ひはありませんか

質問者　在京都一會員

▲問　背柱彎曲症の爲め內臟の諸病を惹き起す憂ひあるや如何なる諸症なるや其矯正法は

●答　背柱彎曲症は重に結核性のもの多く夫れか爲め轉移性の結核か來りまして肺の委縮等を起します矯正法との事てすが此器械は非常に複雜なものて普通の病院なとにはありません位てすから使用法等は紙上にて御答へは出來ませぬ

大分　愛　讀　生

▲問　一、顏面に常に油く出てゝ洗ひ落すもまたまた出てゝ見にくき色に相成り候或醫師は皮脂漏と申し候治療法御敎示願上候

▲二、爪甲の色を美にするためポーレル水は有功に候や或る書に硫黃を少しつゝ飲用すれば目的を遂すと眞實に候や

●答　脂漏症は重もに不潔より來るものですから一日二三回流動加里石鹼にて洗ひ臥床の時亞鉛華（即硫黃）と澱粉と等分にしたるものを塗り翌朝に至りて洗ひ落されよ

●二、答　ホーレル水は非常なる劇藥ですから決して使用してはなりませぬ是れは前の八王子會員に答へたるものと同一の者てす此劇藥を永く服用するときはツマリ一の中毒症を起こして白くなるのて白くなるのみならず之れが爲めに健忘性となり生命に危害を及ぼすことは少くありませぬ又硫黃飲用の事は少しも其効能はありませぬ

質問者　東京牛込　某　女

▲問　私友人にて本年廿五歳の女子七八年前より腋臭の病に罹り困り居候何にか良法無之候や根治致すことと出來すは常に防臭の方法有之候や

●答　腋臭の根治的療法は外科手術により腋下部の線を拔き取る方法があります防臭の方法はサルチル散など塗布するもよろしけれど兎に角專門の醫師に就き充分の診察を受けらるべし

質問者　芝　一　會員

▲問　熟眠中齒ぎしり致し候は如何なる作用にや其療法之あり候へは御教示願上候

●答　熟眠中齒ぎしりをするは一種の癖らし斯く申す記者の如きも又齒ぎしりを爲す習慣ありましたが自から頗る注意し紙一枚を口に頰張り寢るときは齒ぎしりの音も聞せず又自然に治癒りました

質問者　札幌　若林　かめ子

▲問　タカヂアスターゼの用量は二乃至二、五グラム迄との事なれとも同錠劑は一個に付〇、一五含む由なれば錠劑を一度に十個以上服用するも差支なきや

●答　夫れは極量を申した譯で通常は一日に〇、八より一グラム迄を用ゐるがよろしく即ち一回二ケ

位を服用せらるべし

質問者　越後　樋口つや子

▲問　今年五十二才の女にして肝臓にできもの出來し爲身躰大に衰へ候斯る病氣は如何なる原因より起りしか又不治の病に候や

●答　肝臓病にも種々なる原因によりて來るものです假令へは傳染性の者もあり氣候の加減によることもあり又は癌、結核、梅毒性ゴム性等いろ〱の原因がありますから肝臓病を以て直ちに不治の疾病と斷定することは出來ませぬ

質問者　八王子會員

▲問　肺病輕快者の看護法及滋養物如何尚豫后の注意

目下滋養物はソープ二百瓦牛乳四百瓦卵黄四五ヶ飲用、

●答　滋養食品は右丈にてよろし注意すべき要件は寒風に當らぬことと又塵埃中に呼吸せぬ事及常に温暖なる清潔の空氣中即ち海岸等にて保養せらるゝをよろしとす

質問者　會員一女子

▲問　私事常に月經調ひ不申二ヶ月に一度位殊の外少量一年ましに肥り候やうにて常に便秘致し候へとも何をとの位の量用ゐて右樣の身躰に叶ひ候にや

●答　嘗て肥滿症の事は委しく本誌に記しましたことは御承知のよしなるが其方法を實行した上に如何にしても便秘するなればたまにはリチ子油少許を飲まるゝもよろしけれど日々御自分で浣腸を試みられよ材料は石鹼溫湯に解きたるもの又はグリスリン或は微溫湯にてよろし浣腸は何回施すも之れが爲めに害を招くことのないからです

質問者　日本橋區一會員

▲問　私家の妹去卅四年十月生れのもの分娩以來生母の乳不充分の爲め牛乳四沸騰六の割合にて飲用せしめ目下牛乳五、沸湯五、の當分を用ゐ他食物は一切用ゐ居らず昨年十月頃より便秘を

起し時々浣腸するも其時のみ益々便秘を加へ候最も他には少しも異狀無之候右治療法御教示下され度候

●答　最初より牛乳の與へ方濃厚に過ぎております が便秘を起す原因もいろ〳〵と醫學上推測を下しますと實診の上ならでは分らなくなりますが身躰御壯健の事にもありますから差したることでもありますまい最早一年七ケ月もたち居れば副食物を取らせられよ生後十五ケ月よりは消化し易き肉類ソツプ牛乳の御粥柔き野菜を與ふるも少しも害なきこととなれば先づ之れにて少し試みられよ

●長野會員の方へ　四十五才の男下腹に二インチ云々投藥によれば梅毒性と見ゆるも實診の上ならでは確たることは申し難く候兎に角腫物いたまずとて其儘になし置くは不安心なれば宜しく速かに良醫の診斷を求め其病症を判然ならしめなければなりませぬ

▲●●●御斷り　本月は姓名簿の爲め本誌の本文大に短縮餘白なきを以て諸欄を欠き候尚諸氏より御質問の殘りは追々次號にて御答へ申上候延引になりしもあるべく多謝々々

●櫻井醫學士よりの來翰　醫學士櫻井恒次郎君は先きに當會記事起稿者として盡力せられしが今や獨逸に留學中なるが此頃同地の雜誌に婦人衛生會役員の肖像及其記事が出て居りしとて態々送り越されし二三回　會場へ持參會員の觀覽に供せしが今は久保學士の手許にて飜譯中故追而記事も顯はれる事です

●看護學通信講習會　同會は遠隔の人若くは多忙の人にして看護婦を希望するもの丶爲めに通信教授を爲し內務省及東京府の試驗に應ぜしめんとの目的にて大闘ちか子其所長として設立せられたるものなり詳しくは本誌の廣告にあり



大日本婦人衛生會記事

●本會例會

●四月例會　去る四日第一土曜日午后一時半より本會例會を麴町富士見小學校樓上に開きたり當日は前席に於て醫學士石原久氏口腔の疾病に就て演說せらるゝ筈なりしが俄かに病氣の爲め欠席となりぬ依りて後席の豫定なりし井口あくり氏には定刻より米國女子體育の現況と云へる題下に氏は米國に於ける衣食住のことより一般躰育の狀況を詳述せられ三時半頃散會を告げしが當日鍋島會長には御親族喪中の故を以て參場せられしが出席役員には濱尾副會長評議員松井子爵夫人仝高橋孝子仝緒方悅子幹事高木かう子仝岡田德子仝鳩山春子諸氏を初め會員及富士見學校父兄の傍聽もありて盛會なりき

●高崎支會報告

●三月例會　三月十五日（第三日曜）例會を午後一時より高崎市宮元町なる高等小學校内に開く横井忠國氏は幹事に代り入會者の報告及總會時の心得を述べ次に×光線寫眞及其他諸種の病氣に關する寫眞貳拾數葉に就て說明あり倉林香三氏は前回の續きなる救急療法に就き血液循環の狀態を圖畵により說明し延いて出血の種類鑑別より何人も施し得べき應用止血法をも實地に就きて解說せられ最後に前回の補遺として狂犬及び毒蛇に咬まれたるときの所置を追加し第三席稻垣氏は水の話と云へる題にて先づ水の一般効用より說き起こし理化學的性及其簡便なる良否鑑法より水中の黴菌淨水法等を說かれ併せて飲用時の注意は爐過、煑沸の原理方法効用等を詳細に懇話せられ殊に高崎市飲料水の所感に及び大に家庭衞生の爲め稗益を與へられき

會場には圖畵寫眞の外に横井軍醫の强て借り來られたる稻垣軍醫母堂の老手に成れる意匠といひ技術といひいと精巧の雛人形數組を陳列して精神衞生上

の一助に供せられ正四時講話終り仝廿分頃より隨意散會せりといふ

●新年初會寄附金脫漏　金壹圓　大山うら子

●新潟支會報告

●三月例會　三月六日午後一時より新潟市西堀通長善寺に於て例會開催す左の講話ありて出席者四十名なりしと

一縊首法　長谷川一詮
一教育と離産　高橋辰五郎
一東京ペスト視察の實況　長井千尋

●新潟支會長柏田しま子辭任に付評議員小柴さく子を會長に推薦承諾せられしといふ

●四月例會　四月六日午後一時より例會を新潟市西堀通長善寺に開き左の講話あり終りて席上遊戲「クロケノー」「いろは綴」を爲し歡聲堂に滿ちしといふ

●山形支會報告

●三月例會　三月二十一日第三土曜日午後一時より例會を女子師範學校內に開く會員及學生の來會者約百三四十名吉村講師遠山講師津田校長北島醫學士の諸氏出席せられ左の講話ありたり

救急病療法に就て　講師　吉村春榔
衣服に就て　仝　遠山矢十

右終りて津田校長の好意により師範學校敎諭稻岡氏のピアノ彈奏及室內遊戲等ありて午後五時散會せりと

●茨城支會報告

●三月例會　三月十五日水戸市上市高等小學校に於て茨城婦人會を開き午前十時より中學校小林敎諭の物理學實驗談あり午後より支會講演開始の筈なりしが好文亭差支の爲め臨時休會せりといふ

●本會入會者

○京橋特別會員佐藤歌子紹介

●京橋區高島町二番地　特別會員　飯田峰子

○事務所申込

●麻布區宮村町內田山四十二井上伯邸內　通常會員　林節子
●芝區四久保八幡町九番地　通常會員　山崎なつ子
●神田區駿河台袋町濱田病院內　通常會員　湯野節子
●麴町區內幸町一ノ三　通常會員　吉雄辰子
●日本橋區久松町二十九　通常會員　堀內たか子

●台南病院官舍　通常會員　川田あや子

○日本橋田村喜代子紹介
●日本橋蠣殻町一ノ四　看護婦會　通常會員　戸崎つる子

○本郷橫田よし子紹介
●本郷區第一醫院　通常會員　高柳みと子

○麴町兒島まさ子紹介
●麴町區元平河町八番地　通常會員　中村久子

○淺草百瀨きよ子紹介
●本所區菊川町一ノ四十一　特別會員　岩城みつ子

○京橋臼神しげ子紹介
●京橋區南八丁堀一丁目十五番地　通常會員　中里せい子

○本郷大澤とよ子紹介
●本郷區駒込西片町十ほノ二十三號　通常會員　稻田きく子

○神戸婦人協會紹介
●神戸市元居留地十二番館　通常會員　山下春江子

○芝稻島鶴子紹介
●赤坂區青山南町二丁目四十八番地　通常會員　大館きみ子

○本郷武笠美以子紹介
●麴町區飯田町四ノ三吉田方　通常會員　川合はよ子

●新潟支會入會者

○評議員湯原しゅん子紹介
●學校町　特別會員　ニウエル夫人

○幹事梅木しづ子紹介
●新潟市寺町通　特別會員　稻月さよ子

○會員吉住靜江子紹介
●南大畑通　通常會員　中島靜江子
●仝町　通常會員　稻村きん子

○會員田中むら子紹介
●新潟市旭町通　特別會員　池田かほる子

○副會長田中ぬい子紹介
●仝下旭町通　通常會員　飛澤みよ子
●仝寄居町　通常會員　田中さく子
●仝南濱通　通常會員　關井じう子

●山形支會入會者

○黑柳きぬ子紹介
●山形市　通常會員　小林きん子
●仝　通常會員　渡なほ子
●仝　通常會員　佐治とゑ子
●仝　通常會員　松村いく子
●仝　通常會員　近藤まつ子

●高崎支會入會者

○評議員橫井昇子紹介
●高崎市元宮町百五　通常會員　山梨識子

○幹事土谷ひやく子紹介
●仝市相生町二　通常會員　細野登代子

○町田まつ子紹介
●仝市柳川町百五十五　通常會員　等々力歌子

○支會事務所申込
●仝市相生町百五十九　通常會員　鈴木胤子

明治三十六年四月現在

私立大日本婦人衛生會本支會々員名簿

私立大日本婦人衛生會

私立大日本婦人衛生會々員姓名

總裁　東伏見宮依仁親王妃周子殿下

會長　侯爵夫人　鍋島榮子
副會長　濱尾作子
幹事　鳩山春子
仝　羽田三緒子
仝　穂積歌子
仝　岡田徳子
仝　高木かう子
仝　松平芳子
仝　三浦敎子
評議員　石川さだ子
仝　濱田捨子
仝　仁禮壽賀子
仝　西升子
仝　男爵夫人　西靜子
仝　德富靜子
仝　緒方悦子
仝　男爵夫人　川口直子
仝　男爵夫人　加藤鈴子
仝　吉武輝枝子
仝　子爵夫人　田中以代子
仝　高橋孝子
仝　丹波貞子
仝　男爵夫人　南部限子
仝　中濱よし子
仝　岡山とし子
仝　山本多穂子
仝　子爵夫人　松前藤子
仝　子爵夫人　松井正子
仝　馬渡玉子
仝　伯爵夫人　松平充子
仝　子爵夫人　秋元宗子
仝　三宅よし子
仝　宮本樂子
仝　宮下咲子

●特別贊成員（順次不同）
（●は本會に於て講演せられし諸氏）

醫學博士　●入澤達吉君
理學博士　●飯島魁君
ドクトル　●伊澤信平君
地方視學官　●色川圀士君
醫學士　●伊東祐彦君
ドクトル　●飯盛挺造君
醫學博士　●伊藤隼三君
理學博士　●石川千代松君
赤十字社內科主管　●岩井禎造君
貴族院議員　濱尾新君
醫學博士　●濱田玄達君
法學博士　●鳩山和夫君
東京　秋原鋼四郎君
醫學博士　●芳賀榮二郎君
濟生病院長　●長谷川泰君
小兒科　小原頼之君
醫學士　●林春雄君
醫學士　●佐藤達次郎君
醫學博士　●緒方正規君
步兵少佐　●堀內文次郎君
醫學博士　●土肥慶三君
醫學博士　●岡田和一郎君
醫學博士　●大澤謙二君
醫學士　大西秀治君
醫學博士　●大澤岳太郎君
●恩田重信君
男爵　●加藤弘之君
ドクトル　●加藤照麿君
醫學士　●賀古鶴所君
醫學博士　●河本重次郎君
醫學博士　●片山國嘉君
醫學博士　●金杉英五郎君
醫學士　●笠原光興君
醫學博士　●高橋順太郎君
ドクトル　●高山紀齋君
醫學博士　●高木兼寬君
法學博士　高木豐三君

醫學士 田代義徳君
醫學士 田村光顯君
男爵 高崎正風君
醫學士 高田耕安君
藥學博士 丹波敬三君
藥學博士 田原良純君
醫學博士 坪井次郎君
醫學士 久保猪之吉君
醫學士 米山彦郎君
醫學士 宮本俶君
大日本教育會長 辻新次君
理學博士 坪井正五郎君
醫學博士 長與稱吉君
男爵 南部甕男君
[illegible]學博士 [illegible]學博士 長井長義君
醫學博士 中濱東一郎君
醫學博士 隈川宗雄君
醫學博士 栗本東明君
醫學士 山田鐵三君
醫學士 山根正次君
岡山 山川券二君
醫學士 丸茂文良君
衞生試驗所技手 丸山長四郎君
ドクトル 小柴信六郎君
盲唖學校長 小西信八君
廣島 小泉貫君
醫學士 古川榮君
東京 布施正顯君
臺灣民政局長 後藤新平君
帝國大學教授 エ、ベルツ君

醫學士 甲野棐君
寺田勇吉君
子爵 秋元興朝君
足立寛君
ドクトル 新井古芳君
產科婦人科 水原漸君
ドクトル 久保田誠爵君
ドクトル 朝倉文三君
ドクトル 朝山義六君
醫學博士 佐藤三吉君
醫學士 櫻井郁二郎君
醫學士 佐藤恒久君
醫學博士 榊順次郎君
醫學士 神保三郎君
醫學士 櫻井恒次郎君
醫學士 北村精造君
ドクトル 北川乙二郎君
醫學博士 木下正中君
醫學博士 北里柴三郎君
醫學博士 三宅秀君
醫學博士 三浦謹之助君
小兒科專門 宮本仲君
理學博士 箕作佳吉君
醫學博士 三島通良君
醫學博士 三浦守治君
醫學士 三輪信太郎君
伯爵 土方久元君
醫學博士 弘田長君
醫學士 島村俊一君
ドクトル 須田卓爾君

ミスヒユース
ミススマート
醫學士 笹川三男三君
醫學博士 吳秀三君

通常賛成員

和田義三郎君
櫻井光華君
小澤卯之助君
齋藤清文君
佐竹勝兵衞君
小高良造君
中村久三郎君
關善重郎君
廣瀬麟太郎君
田中瀧三郎君
栗林勝太郎君
美島近一郎君

終身會員之部（姓名いろは順）

石崎つる子 本郷區三組町八十六
濵尾作子 小石川區金富町三十三
鳩山春子 小石川區音羽町七ノ十
男爵夫人 加藤鈴子 麹町區上二番町四十四
男爵夫人 花房千鶴子 京橋區築地三ノ四
四邑せつ子 神田區北甲賀町四
四升子 東海道大磯別莊
加藤春路子 牛込區市谷砂土原町二ノ一
伯爵夫人 川村春子 麻布區狸穴町四
高木くら子 麹町區中六番町三十六
高木とみ子 京橋區西紺屋町十
田中とら子 麻布區市兵衞町一ノ五
子爵夫人 田中すま子 小石川區水道端町二ノ四十一
丹波良子 本郷區弓町二ノ二十
上原豊子 小石川區諏訪町二十九
宮下咲子 京橋區因幡町七
三井捨子 小石川區水道町二
森寛子 麹町區永田町一ノ十九

牛込區早稲田町　伯爵夫人　大隈綾子
芝區三田綱町十　仁禮壽賀子
麻布區本村町四十七　男爵夫人　南部民子
本所區緑町二ノ廿四　子爵夫人　牧野美子
本所區松井町三ノ二　本多幸子
本郷區元富士町二　侯爵夫人　前田朗子
牛込區砂土原町一ノ三　鍋倉梅子
小石川區小日向臺町一ノ二十　長谷川仲子
麹町區二番町三十一　井上むつ子
深川區島田町九　鹿島いと子
府下荏原郡入新井村千五百五十　玉塚と代子
牛込區拂方町九　穂積歌子
日本橋區本船町中村屋方　山崎かつ子
神田區淡路町一ノ四　宇津木しげ子
小石川區茗荷谷町八十一　笠井梅野子
淺草區新森田町二　大谷嘉知子
四谷區鮫橋南町四　勝間田千代子
小石川區竹早町八十一　三宅ふじ子
神田區北甲賀町三　三浦數子
小石川區武島町九　清水しづ子
本郷區春木町二ノ五十六　伊東まき子
本郷區西片町十、ろノ十六號　岡澤わか子
京橋區采女町一　松岡雪子
下谷區中根岸四十一　清水とく子
麹町區上六番町三十三　眞野たか子
日本橋區中洲第五號ノ一　日比谷もと子
芝公園第十五號地二號　岸澄子
下谷區谷中天王寺町四　藤村美代子
本所區相生町四ノ十七　山本喜代子
芝區高輪北町三十　茂木操子

●特別會員之部

本郷區西片町十ノ內にノ廿七　飯田たつ子
淺草區猿若町一ノ三十七　岩田晴子
麹町區三番町十二　岡田錦子
赤坂區氷川町五十一　太田龍子
麹町區五番町十四　加藤常子
本郷區西片町十、ろノ二　片山かめ子
麹町區一番町三十　金子家壽子
麹町區下二番町四十一　吉武輝枝子
麹町區上二番町二十五　公爵夫人　鷹司順子
日本橋區元大工町九　高橋瑞子
赤坂區青山北町六ノ四十七　多久ちゑ子
芝區汐留町二ノ一鐵道廿七號官舍　園部さ代子
四谷區鮫ヶ橋町五十八　伯爵夫人　松平充子
麹町區飯田町六ノ二十　子爵夫人　松井正子
麹町區平河町六ノ七　荻原のぶ子
神田區北甲賀町十四　子爵夫人　秋元宗子
本郷區西片町十、へノ十二　榊梅子
牛込區築土前町二ノ八　外山ふさ子
淺草區山ノ宿町五十一　片岡保子
赤坂區檜町三　山脇ふさ子
淺草區新猿屋町十四　花房愛子
麹町區內幸町一ノ三　高木かう子
麹町區永田町二丁目　下田歌子
赤坂區一ツ木町八十一　羽田三緒子
京橋區三十間堀三ノ十七　男爵夫人　西靜子
本郷區東片町百十六　緒方悦子
小石川區指ヶ谷町九　長谷川てう子
赤坂區檜町四　松平芳子

豊多摩郡淀橋七百二十六 馬渡玉子
麹町區富士見町五ノ十 三井晴子
麹町區富士見町一ノ廿九 三井五十子
芝區三田綱町一 伯爵夫人 徳川知子
麹町區永田町一ノ十九文部大臣官舎 菊池たつ子
神田區雉子町三十一 宮本楽子
麹町上六番町二十 足立濟子
神田區駿河臺東紅梅町十七 男爵夫人 岩崎早苗子
本郷區弓町二ノ三十四 青山孝子
芝區伊皿子町七十五 高山愛子
麻布區北日ケ窪 長與園子
本郷區金助町十二 男爵夫人 野田すみ子
神田區淡路町二ノ四、一號 佐藤梅峯子
牛込區早稲田 大隈熊子
芝區田町一ノ十 男爵夫人 本多梅子
神田區駿河臺北甲賀町十一 佐々木芳子
京橋區出雲町一 福原とく子
芝區公園七號八 吉田よし子
麻布區材木町二十四 松岡光子
下谷區龍泉寺町百四十八 原れい子
本郷區湯島新花町九十八 佐藤らく子
牛込區市谷田町二ノ四十 木内磯路子
牛込區砂土原町一ノ二 菊池みれ子
深川區東大工町三十九 鹿島琴子
四谷區仲町三十五 相馬睦子
小石川區春日町四十九 須田いそ子
本郷區弓町二ノ三十四 古市こう子
本郷區弓町二ノ二十四 辻さと子
神田區北甲賀町 金杉松子
麹町區飯田町六丁目 樫村象子

麹町區下六番町五十二 馬屋原ひさ子
京橋區南小田原町四ノ一 森岡きみ子
芝區巴町二十九 園田きん子
小石川區原町三十四 穂積松子
神田區駿河臺袋町十三 濱田捨子
赤坂區福吉町一 侯爵夫人 黒田濟子
牛込區市谷加賀町二ノ二十一 子爵夫人 松平久子
麹町區下二番町七十四 中濱芳子
麻布區東町二十 山地謙子
本郷區向岡彌生町三はノ二號 本間よし子
赤坂區新坂町 男爵夫人 川口直子
赤坂區靈南坂町十七 齋藤春子
赤坂區青山南町六ノ三十 徳富靜子
本郷區西片町十、はノ十九號 佐藤みさほ子
麹町區永田町二ノ三十三 伊集院しげ子
芝區城山町八 大岡榮子
牛込區拂方町九 山口てい子
日本橋區蠣殼町三ノ五 長井とし子
日本橋區大傳馬町一ノ五 長井くら子
芝區城山町一 濟浦とよ子
牛込區津久土八幡町五 松井喜伊子
麹町區一番町宮内大臣官舎 子爵夫人 田中い代子
麹町區上二番町三十八 山本多穂子
淺草區福井町一ノ六 青木すゞ子
麹町區永田町二ノ一 侯爵夫人 鍋島榮子
麹町區飯田町六ノ十九 弘田益子
深川區元加賀町六 谷崎直子
小石川區原町百二十六 坂谷こと子
四谷區大番町四十三 木場こゆり子
芝區伊皿子町 三井曉子

小石川區林町四十四　濱　欽子
芝區田町七ノ六　今村家壽子
麹町區平河町六ノ十四　岡山とし子
芝區高輪車町三十八　子爵夫人　伊東ちせ子
本郷區駒込追分町五十四　森　喜い子
麻布區材木町五十五　増島蘂砂子
京橋區築地三ノ八　池田米子
牛込區南町三十三　中村音海子
神田區駿河臺袋町十二　男爵夫人　平田逸子
芝區神谷町二十二　河島恭氏方　河島ぶん子
本郷區彌生町二、はノ十七號　隈川京子
牛込區東五軒町三十五　曾根しん子
麹町區飯田町六ノ二十　松井倫子
日本橋區住吉町二十二　樋口八重子
芝區榮町十三　久松良子
日本橋區小網町四ノ五　大森ちやう子
神田區南甲賀町十七　朝倉ゆき子
麹町區紀尾井町三　岩下ゆか子
小石川區宮下町十　中村春子
京橋區木挽町二ノ十一　飯島つる子
本所區大平町一ノ一　津輕りき子
四谷區大番町十九　石川さだ子
麹町區富士見町四ノ四　河本かめ子
小石川區原町十三　茂木政子
淺草區橋場町十七　男爵夫人　池田覺子
京橋區築地明石町三十一　佐藤うた子
神田區駿河臺井上眼科病院内　井上春子
下谷區二長町五十九　和田ふく子
神田區駿河臺北甲賀町十七　清水たけ子
淺草區吉野町二十四　百瀬きよ子

本所區向島寺島村公木園　末木つる子
麹町區中六番町二十四　高橋ルイセ子
日本橋區本町二ノ十二　高橋寧子
下谷區龍泉寺町四百十　原　ひさ子
麹町區四番町十四　三輪田眞佐子
芝區西久保城山町九　石川ます子
麹町區富士見町一ノ一　品川英子
麹町區中六番町三十九　中村證子
麹町區永田町二ノ一　早田純子
深川區大住町四　中村伊曾子
神田區西小川町一ノ八　岡村匡子
麹町區飯田町四ノ三十一　橋本とよ子
深川區東平野町十六　神谷竹子
本郷區龍岡町八　子爵夫人　松平八百子
麻布區笄町四　松平露滿子
神田區錦町三ノ四　小原榮子
牛込區築土前町十八　古澤信子
麹町區飯田町四ノ九　堅山彌生子
麹町區中六番町四十　子爵夫人　井上きよ子
麹町區虎ノ門内東京女學館　藤井靜子
麻布區櫻田町廿四、川瀬氏方　太田梅子
芝區西久保城山町一　植村まき子
麹町區五番町九　嘉納須磨子
京橋區本湊町十七　秋田治子
日本橋區小傳馬町三ノ五　大竹伊勢子
本郷區向岡彌生町三　子爵夫人　戸田とき子
四谷區右京町十三　尾關菊枝子
麻布區一本松町二十三　關　邱子
日本橋區本石町二ノ七　山村きよ子
豐多摩郡戸塚村穴八幡上　松前光子

芝區神谷町十八　相磯まさ子
日本橋區本町四ノ十五　島田ひで子
仝　所　島田こう子
京橋區木挽町十ノ十四　林さと子
赤坂區青山南町二ノ六十六　小松いさ子
麻布區三軒家蓮門教會内　横田秀野子
麹町區三番町八十四　磯邊あや子
牛込區北山伏町二十　大澤つや子
本郷區丸山新町二十　久保よりえ子
牛込區藥王寺前町四十三　中村つれ子
本郷區駒込追分町三十一　中村銑子
牛込區市谷仲町五十七　嚴田しげ子
麹町區土手三番町十、水澤方　岡野いく子
神田區今川小路三ノ四　守屋千代子
本郷區駒込曙町十六　堀ぎん子
京橋區新富町四ノ七　大谷作子
芝區南佐久間町一ノ一　松村つる子
淺草區左衞門町一　中山幸子
淺草區吉野町二十四　百瀬方　増田照子
京橋區靈岸島町二　飯田峯子

通常會員之部

い ノ 部

牛込區早稻田馬場下町三十五　犬養千代子
牛込區東五軒町四十二　伊藤琴子
牛込區北山伏町四十　板倉藤子
芝區田町一ノ十二　石河里子
麹町區永田町一ノ十七　男爵夫人　伊東やへ子
赤坂區溜池榎坂町四　岩野幾世子
芝區田町八ノ七　磯部鐵子
麻布區宮村町　伯爵夫人　井上武子
麻布區廣尾町三十三　井上光子
小石川區指谷町育嬰學校内　石川さの子
麹町區飯田町六ノ七　岩橋とき子
本郷區本郷四丁目三十五　石井園子
神田區駿河台鈴木町五　五十嵐つれ子
本郷區曙町十六　岩永さと子
本郷區曙町十六　今村末子
赤坂區台町二　石黒すま子
本郷區天神町一ノ九十四　今田初子
赤坂區仲ノ町　石田くめ子
四谷區坂町九十　稻垣かつ子
麹町區飯田町六ノ二十五　伊藤喜美榮子
神田區北甲賀町九　男爵夫人　池田甲子
神田區北甲賀町十　一井てい子
下谷區谷中清水町一　犬養かつ子
神田區今川小路三ノ三　出浦のぶ子
深川區木場町十五　井澤ろく子
赤坂區青山北町六ノ三十三　石光佐家子
麻布區廣尾町二　池田とき子
麹町區中六番町二十七　岩崎こく子
牛込區袋町八　飯田幸子
芝區三田四國町二十八　井上美代子
神田區仲猿樂町十七　井本秀子
小石川區西原町二ノ四十　井ノ口たず子
神田區西紅梅町彌生看護婦會　稻葉千代子
京橋區桶町二十六　石崎ひさ子
神田元柳原町四十四　今川きく子
四谷區鹽町一ノ二十九　伊藤こう子

本所區龜澤町二ノ三　磯部つや子
本郷區西片町十、ろノ八號　親のぶ子
日本橋區久松町廿九、看護婦會　井上なか子
芝區櫻川町二　石丸總子
麹町區富士見町四ノ八　今村富子
芝區榮町八　伊東俊子
本郷區元町三ノ六十六　今井壽美子
深川區富岡門前町四十七、高等看護婦會　飯田たい子
麻布區宮村町九　井倉れい子
京橋區岡崎町二ノ十五　石丸梅子
神田區猿樂町十二、水原病院內　池上利ゑ子
本郷順天堂病院內　石黑ひで子
本郷區西片町十、いノ十三號　石井ふ美子
麹町區中六番町二十七、岩崎氏方　家坂みよの子
芝區神谷町十八　岩船手子
麹町區內幸町三ノ五　磯野きく子
芝區高輪北町三十一　伊東とく子
下谷區茅町一ノ七　根岸氏方　石久保美伊子
神田區錦町三ノ二　大關氏方　今井稻子
京橋區舟松町五、　池谷八重子
本郷區駒込西片町十ほノ二十三　稻田きく子

はノ部

赤坂區青山南町六ノ七十六　橋本ちせ子
麹町區富士見町四ノ十一　林竹子
本郷區湯島天神町一ノ六十四　淺井氏方　服部もと子
麹町區飯田町三ノ十五　原みつ子
日本橋區北槇町二　林つる子
神田區小川町四十一　林さく子
神田區南甲賀町八　原政子
本郷區駒込曙町十六　馬場きく子
牛込北山伏町三十五　橋本滋子
京橋區南鍋町一　橋本くら子
下谷區徒士町一ノ三十五　早川花子
芝區三田四國町二ノ十四號　入田てつ子
深川區富岡門前東仲町八　林田曉子
小石川區指ケ谷町七　原靜子
京橋區銀座三ノ三　萩原さの子
赤坂區新町三ノ四十四　長谷川たよ子
麻布區飯倉片町三十一　服部鎭子
赤坂區新町五ノ四十二　原田嘉穗子
日本橋區通二丁目十四　馬場はる子
本郷區追分町三十　原あい子
神田區駿河臺袋町十五　林久尾子
小石川區原町百三十三　萩原ひさ子
淺草區駒形町三十二　橋本いま子
淺草區福富町十三　林てる子
麹町區土手三番町五、柘植氏方　原澤四津子
牛込區白銀町三十　早川待子
麻布區宮村町井上伯邸內　林節子

にノ部

麹町區飯田町六ノ十六　西尾京子
牛込區仲町十一　仁尾しげ子
牛込區辨天町九十九　西野喜子
本郷區五丁目二十七　庭井靜子
深川區東森下町五十八　西部りう子
神田區猿樂町十二、水原病院內　西村藤子

ほノ部

赤坂區青山南町七丁目青山學院内　本多てい子
神田區淡路町二ノ二　穗積さい子
牛込區河田町九　本荘すゞ子
日本橋區坂本町十七　鈴木氏方　堀田いわ子
小石川區表町五十二　堀かた子
深川區古石場六　堀越みつ子
神田區鍛冶町七　堀内ゑん子
淺草區猿若町三ノ六　本條貞子
本郷區新花町九十三　堀部夏子
芝區新櫻田町十　堀口ひな子

へノ部

牛込區鷹匠町三　別役ゆか子

とノ部

牛込區若宮町十三　豊島清子
牛込區辨天町四十　鳥居ろく子
牛込區若松町百三十二　戸川信子
牛込區天神町七十八　富永のぶ子
四谷區箪笥町三十三　戸川操子
麹町區元園町一ノ六　戸塚てつ子
本所區横網町二ノ五　富永和氣子
小石川區豊川町女子大學校第二寮　友近里子
四谷區大番町五十六　道家しづ子
日本橋區蠣殻町一ノ四看護婦會　戸崎つる子

ちノ部

麹町區永田町二ノ七　長郷千代子
芝區愛宕町北里病院内　千葉みよ子

をノ部

麻布區笄町百十八　沖きよ子
京橋區西豊多摩川岸二十五號　岡富子
麹町區飯田町三ノ十　長田しき子
本郷區湯島新花町七十四　大澤と代子
麹町區富士見町二ノ三　太田もと子
麻布區谷町三十八　奥田たか子
京橋區築地三ノ十五　岡田せい子
神田區錦町三ノ一　大関ちか子
本郷區東片町百三十一　大澤さく子
本郷區順天堂病院内　大久保晃子
下谷區徒士町一ノ九　大森くめ子
京橋區銀座三ノ三　岡崎ふさ子
麻布區三軒屋町三十八　小倉すゞ子
麻布區本村町百七十四　岡崎き代子
南豊島郡千駄ヶ谷村　侯爵夫人　大山捨松子
麹町區中六番町十一　小山田かち子
牛込區市谷藥王寺前町八十三　大塚いはほ子
麻布區富士見町　尾崎つる子
芝區愛宕下三ノ一　大脇登子
麹町區有樂町三ノ一　奥村知惠子
豊多摩郡戸塚五百七十三　小川まつ子
本郷區元町一ノ三　越智馨子
麹町區永田町二ノ十三　大島つい子
小石川區久堅町七　大河内完子
芝區金杉濱町七十三、九號　奥山とし子
牛込區原町一ノ五十七　小田川みつ子
神田區淡路町一ノ一　大井まさ子
神田區駿河臺袋町九　大橋榮子
芝區三田四ノ七　大木次子
牛込區仲町三十三　岡崎いし子

麻布區笄町百二十四　大石花子
芝公園十五號十一　大澤かめ子
神田區駿河臺袋町十三、濱田病院内　尾花よし子
牛込區市ヶ谷町一　大枝繁子
本郷區元町二ノ四十八　大久保榮子
麻布區飯倉狸穴町四、川村伯邸　落合あや子
麻布區龍土町五十八　小田切浦乃子
淺草區千束町三ノ百二十　及川かれ子
日本橋區兜町六　尾關芳惠子
麻布區宮村町六十六　小山壽美子
牛込區榎町十三　大石とみの子
本郷順天堂病院内　岡本ひさ子
日本橋區濱町二ノ十二、南ノ九十六　大八木幸子
淺草區材木町四十二、共立看護婦人會　岡本ます子
麻布區東鳥居坂町九　大島眞子
麹町區有樂町三ノ一　岡村まさ子
京橋區南八丁堀一ノ十五　岡本ぶ子

わノ部

日本橋區茅場町四十九　渡邊よれ子
麻布區材木町十　藁谷保子
牛込區加賀町一ノ三十　和田垣つな子
日本橋濱町三ノ一　若林かれ子
麻布區宮村町四十二、田島方　和田松子
四谷區大番町四　渡邊松子
本郷區西片町十、　和田英子
日本橋區龜島町一ノ十八　渡邊節子
本郷區弥木町三ノ三十七、二宮氏方　渡邊はく子
麻布區飯倉二ノ二十三　渡邊聴子
小石川區水道端二ノ四十　渡邊れん子

麹町區下六番町十一　渡邊てる子
神田區松永町二十二　渡邊かつ子

かノ部

麻布區東町二十四　川上やす子
麹町區富士見町六ノ二　男爵夫人　神山まさ子
麹町區富士見町五ノ十九　賀茂東美子
神田區淡路町二ノ九　神田德子
赤坂區青山穏田三十二　加藤つる子
芝區白金台町一ノ七十一　河津敏子
牛込區新小川町二ノ十　川田みつ子
麻布區霞町一　門野駿子
芝區包町二十四　加藤きよ子
芝區高輪車町五十五　加藤辰子
本郷區本郷元町二ノ六十六　河村初子
日本橋區兜町三　絹谷たけ子
赤坂區青山南町一ノ五十五　上泉ひさ子
牛込區市谷加賀町十二　金坂すゞ子
牛込區横寺町五十一　河村千代子
牛込區簞笥町三十一　河村よし子
麹町區三番町二十　河原久子
日本橋區蠣殻町三ノ十一　兼子とき子
牛込區若松町五十九　川地遊龜子
四谷區愛住町三十八　河野きし子
芝區西久保神谷町十八　川添はる子
京橋區采女町二十八　金原美好子
淺草區千束町二ノ二百五十八　鹿島しん子
神田區鈴木町二、東洋内科醫院内　河野もとよ子
深川區入船町四　加瀬しま子
日本橋區久松町廿九、杉浦方　河合さと子

本郷區四片町十、ほノ三號　風間明子
芝區高輪北町三十一　金原てい子
赤坂區丹後町五十八　蒲原和歌子
下谷區練塀小學校內　加藤あい子
牛込區新小川町二ノ二十　柿澤蕊子
深川區三好町一　川村雪子
牛込區橫寺町八、拓植氏方　川島つれ子
本鄉區丸山福山町二十　川島けい子
麹町區飯田町四ノ三吉田氏方　川合はよ子

よ　ノ　部

本鄉區元町一ノ六　吉原よれ子
京橋區銀座三ノ二十一　吉田賢子
京橋區南鍋町二ノ五　米津たか子
芝區愛宕町四ノ七　吉原かや子
牛込區四大久保町四百六十　與倉幹子
麹町區五ノ四　依田豊代子
麹町區紀尾井町三　吉野仲子
芝區琴平町十二　吉澤みつ子
神田區袋町濱田病院內　橫川き代子
牛込區大久保余丁町十九　吉武あい子
京橋區弓町二十四　吉松春賀子
麹町區內幸町一ノ三　米井鶴松子
深川區中島町五、增田氏方　橫堀乙二子
神田區美土代町一ノ十八　由水つれ子
下谷區車坂町四十九　吉田廉子
宮內省御內儀津守好子氏內　吉田てゐ子
京橋區靈岸島靈町八　吉田よし子
小石川區小日向台町二ノ十六　橫山蕗子
麹町區三丁目二、河村氏方　吉本きぬ子

小石川區久堅町十二　吉田せつ子
芝區高輪町三十六　吉本すゞ子
麹町區飯田町六ノ十七　橫矢ゆき子
神田駿河台袋町濱田病院內　橫瀨りう子
麹町區內幸町一ノ三　吉雄辰子

た　ノ　部

麹町區永田町二ノ七　高島つろ子
本鄉區西片町十、へノ十六　田口つる子
麻布區霞町二十二　玉利和歌子
四谷區鮫橋五十九　財部さわ子
神田區北甲賀町八　田村てう子
神田區仲猿樂町七　高橋濟子
神田區今川小路一ノ五　田中こう子
神田區鈴木町十二　高田てる子
京橋區木挽町一ノ十四　高山らく子
牛込區納戸町二十六　高山さき子
芝區拜手町十八　田中てる子
京橋區南鍋町五　多田なを子
麻布區本村町百九十三　立川良子
淺草區田町一ノ九　田中たか子
京橋區本材木町三ノ十一　高岡波子
京橋區金六町十四　高崎妙子
神田區通新石町十九　竹內しよう子
麹町區平河町六ノ十三　武富すみ子
麻布區霞町一　玉利のぶ子
本鄉區四片町十、ろノ二十四號　竹村てい子
赤坂區榎町十六　竹崎鄉子
本鄉區西片町十、にノ二十九　高倉つな子
牛込區喜久井町二十　田淵屋壽子

小石川關口台町 高田藤子
麹町區内幸町病院内 高瀬さと子
本郷區本富士町二 立川よれ子
牛込區下宮比町二 田中とよ子
日本橋區久松町二十九、杉浦方 高梨りん子
芝區西久保巴町七十九 玉木とよ子
本郷區湯島天神町一ノ廿四 高橋泰子
牛込區辨天町百四十七 谷森燒子
日本橋區久松町二十九杉浦方 高橋光子
芝區四應寺町六十一 武田よし子
日本橋區久松町廿九 杉浦方 竹内いせ子
麹町區富士見町五ノ二十三 高島なを子
下谷區仲徒町六十六 田邊りん子
牛込區船河原町十三 高木やす子
芝區高輪南町五十二 瀧澤ふゆ子
東京巣鴨病院 田賀逝子
日本橋區本銀町四ノ九 高木こう子
芝區明舟町十九 田村こま子
芝區三田四國町二ノ十七號 高橋満津子
淺草區田町一ノ七十六上山方 高橋のぶ子
淺草區聖天町六十一園陽方 多田益子
京橋區新船松町九 辰澤町子
日本橋區蠣殻町一ノ四戸崎方 田中しま子
日本橋區久松町廿九杉浦方 竹内しま子
四谷區北伊賀町二十六 玉井たき子
本所區南二葉町十 田原その子
赤坂區台町六十一 竹内有樂子
本郷區元町二ノ四十七 田中せい子
本郷區元町一ノ四 武井綱枝子
日本橋區濱町一ノ一 武田てる子

本郷區湯島六ノ十 田中恒子
神田區駿河台袋町產科婦人科病院内 玉井ちとせ子

つノ部

本所區緑町三ノ四十 津田かめ子
本郷區西片町十、いノ十一 坪井なを子
麹町區富士見町五ノ九 佃うめ子
麹町區下二番町 津田仲子
牛込區辨天町百四十四 鶴見千代子
日本橋區箱崎町三ノ二 塚原梅子
日本橋區旅籠町八 鶴岡照子
下谷區車坂町百七 築山かう子
神田區小川町一ノ一鈴木方 築地ふト子
日本橋久松町廿九、杉浦方 塚原もん子
麹町五番町九 高納氏方 堤藤子
本郷區東竹町三十 塚原雄子

ねノ部

下谷區池ノ端茅町二ノ四 根岸かな子
神田區仲猿樂町十七、にノ十二 根本てつ子

なノ部

深川區佐賀町二ノ二十二 長江しげ子
本郷區駒込千駄木林町二百二 中島たけ子
芝區松本町三十二 長野敏子
牛込區矢來町三、中丸五十八 中根うめ子
牛込區藥王寺前町八十二 中村みつを子
麻布區本村町百八十五 中島鉞子
牛込區辨天町六十七 南部靜枝子
芝區田村町六十二 内藤千代子

牛込區早稻田南町八　中山樂子
日本橋區新工門町　濱川米子
麹町區飯田町六ノ二十六仁壽醫院内　奈良かな子
本郷弓町二ノ三十　中江あし子
下谷區練塀學校内　中村い代子
東京巣鴨病院内　永松あい子
京橋區南八丁堀一ノ十五　中村美根子
小石川區小日向台町三丁目　南部きし子
日本橋區呉服町二十二　中野ゆ子
神田區一ツ橋通町十三　永田靜子
麹町區九段坂下看護婦會　中尾しづ江子
下谷區竹町一ノ二號　中村きく子
本郷區菊坂町八十五　中島たか子
本郷區春木町三ノ四十　成川その子
麹町區元平河町八　中村久子
京橋區南八丁堀一ノ十五　中里せい子

むノ部

下谷區茅町二ノ二十一　棟方もゝよ子
本所區龜澤町一ノ七　村山すゑ子
牛込區市ケ谷仲ノ町一　村木きくゐ子
本郷區弓町一ノ二十五、宇非方　武笠美以子
神田區南甲賀町九　室賀歌子
芝區金杉濱町七十一、北川方　村上靜子

うノ部

芝區高輪南町五十七　上野毅子
芝區三田綱町十　上村き代子
京橋區釆女町三十六　浦島てい子
日本橋區通四丁目　牛山竹代子
神田區東江梅町十三　内田すま子
麹町區三番町　裏松千代子　子爵夫人
四谷區東信濃町十　内山訓子
京橋區銀坐三ノ十九　植木ゆき子
小石川區西丸町五十七　内山園子
小石川區江戸川町九　内野春枝子
芝區金杉濱町六十六　潮田千勢子
本郷區湯島三組町八十一　宇田川利子
麹町區飯田町一ノ八、船曳方　碓田ぶん子
牛込區若松町百三十七　梅津德子
日本橋區本材木町一ノ十九　植田房子
下谷區二長町五十二　浮貝はる子
本所區外手町八十六　宇數かつ子
日本橋區久松町廿九杉浦方　梅澤千代子
赤坂區新坂町七十二　宇治川なを子
日本橋區本材木町一ノ十五　内田なか子
麹町區下二番町六十　内田りん子
本郷區弓町一ノ八　宇野きみ子

のノ部

芝紅葉館内　野邊地たき子
四谷區信濃町　野崎わか子
淺草區山ノ宿五十三　野口かう子
麹町區山元町一ノ七　野上きゑ子
神田區鍋町三ノ二大關氏方　野際てう子

くノ部

本所區元町十八　栗塚龍子
小石川區金富町三十五　久保田八重子
本所區若宮町八十七　栗原いれ子

熊澤しま子　麹町區飯田町三ノ四
窪野しげ子　下谷區仲御徒町二ノ二十一
藏田咲子　牛込區市谷田町二ノ十一
日下部政子　麻布區笄町七十九
久保田不二子　麹町區道三町二
久保田靜子　麹町區平河町六ノ十
粂みな子　本郷區西片町十、ろノ十號
隈本ちゑ子　芝公園第十七號ノ三
曾田千代子　日本橋區濱町三ノ六
黒須まき子　芝區西久保明舟町十九
桑原美代子　日本橋區久松町杉浦看護婦會

やノ部

山田そ代子　芝區榮町八
男爵夫人 安保よれ子　牛込區市谷富久町百二十六
山川二葉子　小石川區久堅町三十七
山路光子　淺草區松葉町三十二
山上よし子　四谷區本村町三十七
山岡せい子　芝區本芝三ノ十五
山際はる子　芝區[illegible]手町十七
山田くめ子　芝區田町四ノ六
山本里子　京橋區西紺屋町八看護婦會
山本みつ子　芝區琴平町九
山口せき子　芝區三田四國町十五
矢島かち子　麹町區上二番町三十三
山本たま子　京橋區築地二ノ五藤田氏方
男爵夫人 安保操子　牛込區市谷富久町百二十六
矢内つた子　京橋區木挽町二ノ十三
矢部ふさ子　赤坂區靈南坂町二十六
山本とつ子　麹町區隼町二十
山口もと子　神田區錦町三ノ二看護婦會
矢野ふみ子　芝區南佐久間町二ノ十五
山岸とし子　神田區駿河台西紅梅町十二
山口まきよ子　麻布區材木町六十
山田拾子　牛込區揚方町十一
山崎賀雄子　赤坂區丹後町一二十五號
山崎しん子　赤坂區新町三ノ十八
保岡愛子　本郷區駒込丸山新町二十一
山崎なつ子　芝區西久保八幡町九
柳橋とや子　京橋區南傳馬町一ノ一

まノ部

牧野文子　神田區台所町二番地
松山信子　芝區三田三ノ十四
町田ふと子　麹町區中六番町二十七
松浦はる榮子　京橋區三十間堀一ノ六
丸茂むれ子　下谷區仲徒町二ノ三十五
田せい子　牛込區赤城下町二十二
眞水定子　本郷區西片町十へノ三
牧かれ子　芝區櫻川町十
伯爵夫人 松方政子　芝區三田一ノ二十八
馬島その子　神田區北神保町十八
松崎すぎ子　麻布區我善坊町三十四
松本正木子　麹町區三番町十一
町野こま子　本郷區西片町十いノ七號
牧野柴子　小石川區久堅町七十一
松永くに子　本郷區弓町二ノ八
松下貞子　赤坂區表町二ノ十七
松澤安子　日本橋區背物町二十五
丸山てい子　京橋區彌左衛門町十

日本橋區新材木町十四　松下つれ子
日本橋區西河岸町十二　松本てる子
牛込區市谷仲ノ町五十二　松浦つる子
麹町區富士見町一ノ三十一　眞崎まつ子
四谷區大番町石川さだ子方　又木のぶ子
日本橋區蠣殼町二ノ十九　増岡敦子
神田皆川町十三　松田せき子
小石川區白山御殿町百十　丸尾しげ子
神田區錦町一ノ十四　松本文子
神田區錦町三ノ二　松尾ゑつ子

ふノ部

麹町區飯田町一ノ八　船曳みき子
芝區小山町五番地　藤田聞子
麻布區材木町五十　藤岡千勢子
芝區小山町一番地　福島つる子
内藤新宿御料地内　福羽てい子
牛込區市ヶ谷仲ノ町五十八　古川とめ子
本所區向島小梅町二百十三　深津せい子
麻布區笄町百二十九　福永淺子
麹町區一番町三十九　福島たき子
下谷區練塀學校内　藤牧ふじ子
淺草區猿若町一ノ十二　福島こと子
麹町區三年町五、有栖川宮邸内　福地衣子
麹町區永田町二ノ一鍋島邸内　古川喜代子
神田區猿樂町十九　古谷拐子
小石川區諏訪町三十六　藤澤すま子
本郷區彌生町二は三十四號　藤田和子

こノ部

日本橋區元大坂町十三　後藤はつ子
神田區仲猿樂町十七、東都看護婦人會　小林すて子
本郷區西片町十は二十四號　近藤幸子
麻布區笄町三十八　兒島悦子
麹町區内幸町一ノ三胃腸病院　駒井政子
牛込區辨天町百六十　兒玉ちよ子
日本橋區蠣殼町二ノ七　小林つる子
牛込區矢來町三山里四十六　神足とも子
芝區三田四國町十五　近藤花子
本郷區四丁目三十六　小林さだ子
麹町區平河町二ノ六　兒玉まさ子
本郷區湯島五ノ十順天堂病院　後藤米子
下谷區中徒町二　小林まつ子
日本橋區濱町三ノ七楠田病院　小林千代子
本所區南二葉町江東病院内　高堂ふさ子
日本橋區久松町二十九　近藤いく子

てノ部

小石川區[illegible]川町二十四　寺田恒子

あノ部

神田區袋町七　新井琴子
麹町區平河町六ノ二十四　相原ひさ子
芝區三田功運町十九　蘆田操子
麹町區富士見町五ノ十　青戸さく子
芝區三田松坂町三十四　阿部優子
京橋區南八丁堀一ノ二十八　綾井きん子
牛込天神町七十一　青木すみ子
牛込區市谷加賀町二ノ二十　安藤さく子
牛込區南町十三　安藤ひで子

本郷區元町二ノ四十八博愛看護婦會　遠美かな子
淺草區新森田町五　相坂壽美子
日本橋區呉服町三十一　天田鶴子
下谷區東坂町六十二　荒木てつ子
麹町區下六番町四十八　淺田みれ子
日本橋區本石町三ノ二十七　相川さと子
小石川區金富町五十七　淺井ひて子
牛込區北山伏町二　荒井利彌子
日本橋區濱町一　安達みつ子
神田區駿河台袋町濱田病院内　新江よし子
神田區錦町三ノ二　朝倉ふみ子

さノ部

芝區三田四國町二、十二號　澤邊れん子
麹町區三番町三十二　榊貞子
芝區三田綱町一　齋藤せん子
芝區西久保明舟町十九　酒井園子
麻布區鳥居坂町九　實吉れん子
神田區錦町鈴木方　佐々木かく子
麹町區永田町二ノ一　阪木鳳子
麻布區櫻田町四十四　佐々木順子
本郷區駒込二百三十二　佐藤靜子
小石川區同心町一　齋田とき子
赤坂區氷川町三十六　相良濱子
小石川區白山御殿町百九　齋藤竹子
芝區櫻川町十八　佐々木貞子
牛込區市谷加賀町二ノ二十六　侯爵夫人　西郷信子
京橋區木挽町十ノ六　坂本千代子
小石川區豐川町女子大學校　佐藤俊子
京橋區新肴町十　齋藤政子
下谷區櫻木町二　坂上よれ子
四谷區内藤町一、ホノ二　坂田鮮子
芝區西ノ久保琲手町十九　佐伯すみ子
麹町區飯田町一ノ八船曳方　佐野久子
麹町區[illegible]病院　三枝ミスズ子
日本橋區久松町二十九杉浦方　酒井はま子
日本橋區蠣殻町三ノ十一　坂口よし子
本郷順天堂病院内　齋藤民子
神田區表神保町七　齋藤ます子
神田區駿河台鈴木町東洋内科醫院内　堺あさ子
下谷區茅町二ノ四　坂田明子

きノ部

赤坂區檜町六　子爵夫人　清岡かく子
芝區新堀町二十四　木村ふみ子
府下駒場農科大學官舍　喜多山つせ子
日本橋區小傳馬町一ノ三　岸田とり子
牛込區市谷山伏町十六　北代竹子
麹町區富士見町一ノ二十八　木島美濃子
麹町區富士見町五ノ二十四　清洲とみ子
麹町區富士見町五ノ二十二　喜多村歌子
淺草區橋場町有馬邸内　木の下かく子
淺草區田町一ノ八　鬼宜ふく子
府下豐多摩郡千駄谷村　北澤信子
日本橋區久松町二十九看護婦會　喜多村ちか子
麻布區本村町百四十二　岸美與子
日本橋區久松町二十九杉浦方　岸とよ子
麹町區下二番町同生病院内　菊地琴子
深川區大和町八　木村公子
麻布區狸穴町四十三　木戸ふて子

神田區錦町三ノ二大關方　北原とし子
京橋區銀座二ノ十一　岸田駒子
芝區明舟町十八　木村芳子

みノ部

芝區明舟町十九　三浦銈子
麻布區龍土町五　三島わか子
小石川區竹早町八十二　三浦とめ子
本郷區片町十、はノ十五號　南なか子
小石川區林町四十一　宮崎よし子
赤坂青山南町五ノ二十五　菊地総美子
麴町區五番町二　三浦とき子
京橋區南鍋町一丁目七　三島千代子
芝區三田豊岡町五十八　水谷まち子
芝區明舟町十二　宮崎篤子
牛込區市谷山伏町十六　溝淵駒衞子
本郷區彌生町三、はノ十四號　三橋濱尾子
神田猿樂町十二　水原はる子
下谷區御徒町三丁目四十一　宮木いく子
日本橋區久松町二十九　宮田ちか子
四谷區大番町三十　三浦德子
神田區錦町三ノ一　水野しげ子
淺草區元吉町十三　三森千枝子

しノ部

麴町區飯田町六ノ十八　島崎たけ子
赤坂區青山南町二ノ二十六　進みち子
赤坂區靈南坂町二十　進とし子
麴町區下二番町七十二　鹽田てる子
麴町區富士見町二ノ四十二　侯爵夫人　四條春子

麴町區一番町二十九　白井きん子
芝區葺手町　下村ちと子
芝區小山町五　神宮司富子
芝區巴町三十四　篠原さだ子
芝區城山町九　清水とし子
京橋區南八町堀一丁目十五　白神しげ子
芝區二本榎一ノ三十五　鹽澤こと子
牛込區榎町七　集堂みつ子
赤坂區青山北町五ノ二　柴田鶴子
小石川區白山御殿百十　下瀨勝千代子
麴町區元園町一ノ六　志賀かま子
日本橋區久松町二十九　篠原みち子
牛込區河田町小笠原邸內　澁田見まき子
赤坂區青山北町六ノ十七　島津治子
麴町區一番町五　清水富喜子
小石川區表町百九　守隨きよ子
神田區淡路町一丁目　十文字こと子
赤坂區青山南町六ノ百四十七　島こう子
日本橋區本町三ノ六　島原ひさ子
麴町區內幸町胃腸病院　白石とわ子
本郷區駒込東片町四十二　下田鶴子
麻布區霞町六　島內幾千代子
芝區源助町十二　進藤やま子
日本橋區吳服町一　清水なを子
赤坂區一ッ木町五十九　志村むれ子
神田區駿河臺袋町濱田病院內　白井せん子

ひノ部

麴町區下二番町六十九　日高りき子

麴町區三番町十二　廣瀬りき子
本郷區丸山新町三十一　廣井つな子
牛込區岩戸町三　廣瀬雪江子
下谷區御徒町三ノ四十七　平井琴子
本郷區駒込西片町十トノ六號　平林たみ子
本郷區湯島天神町一ノ五十　平田きみ子
淺草區下束町二ノ五十四　廣瀬ひさし子
本郷區眞砂町三十四　平野増子

もノ部

赤坂區青山南町五ノ五十　本尾しげ子
牛込區岩戸町十八　森しん子
牛込區上宮比町五　森安かた子
麻布區三軒屋町二十九　森園子
赤坂區新坂町七十　本島錠子
赤坂區新町三ノ十八　森永とく子
淺草區元吉町十三　森田ちか子

せノ部

京橋區長崎町二丁目五　關すゞ子
神田區佐久間町三ノ三十七　關口竹子
神田區仲猿樂町十七　關田いそ子
本郷區西片町十、ろノ七號　關野小枝子
神田區駿河臺袋町濟田病院　關みつ子
下谷區車坂町三十一　瀬川さわ子
神田區錦町三ノ二　瀬上かず子
牛込區拂方町十六　關原かめゐ子
麴町區平河町六ノ二十二　關すが子

すノ部

神田區北神保町八　鈴木みち子

芝區榮町十三　菅豊子
芝區三田綱町一　杉いそ子
麻布區本村町六十七　鈴木錦子
本郷區駒込病院内　杉本りせ子
赤坂區青山北町四ノ六十八　鈴木八重子
神田區北神保町十一　須田すゞ子
本所區柳島町六　鈴木喜代子
日本橋區久松町二十九　杉浦いと子
牛込區北町十一　鈴木うめ子
牛込區北山伏町四十五　杉山わかな子
本郷區湯島三組町八十二　杉本嘉納子
麻布區材木町六十三　鈴木てる子
京橋區木挽町六ノ八　鈴木はな子
赤坂區青山南町一ノ三十六　杉江まつ子
日本橋區久松町二十九　須田きよト子
芝區佐久間町二ノ八　須田戯代藤子
牛込區新小川町二ノ二十　菅原正能子
下谷區池ノ端仲町十七　水藤みよ子
芝區公園十二號地三　須田さだ子
京橋區弓町十　杉田なつ子
牛込區市谷仲町六十　杉本かれ子
芝區西應寺町六十四　鈴木つる子
小石川區指ヶ谷町二　諏訪なみ子
神田區錦町三ノ二大關方　鈴木字乃子

東京帝國大學醫院之部

本郷第一醫院　佐藤さだ子
仝　木村いわ子
仝　代とめ子

本郷第一醫院	森もと子
仝	石橋はや子
仝	村井ちか子
仝	山田やゑ子
仝	赤堀龍江子
仝小兒科	安達たか子
仝第二醫院内科	高野京子
仝皮膚科	小林かつ子
仝第一醫院	横田よしの子
第一醫院	中村とく子
仝	落合あい子
仝	山本のぶ子
仝	諏訪なみ子
仝	大井田なか子

赤十字社病院

麻布區澁谷日本赤十字社病院	佐藤梢子
仝	池上なを子
仝	寺本谷子
仝	和田清子
仝	千葉てろ子
仝	桂ゆき子
仝	間瀬ゆき子
仝	鈴木けい子
仝	安岡貞枝子
仝	山田華子

地方會員姓名

地方賛成員

栃木縣河内郡姿川村大字鹽谷五	坪山平馬君

石川縣金澤市石坂與力町三十二		中村順次君
福井縣武生郡武生病院		鹽田宗太郎君
岡山縣東中山下二	特賛	山川孝二君
臺灣臺北民政局	仝	後藤新平君
京都市烏丸通上長者町角	ドクトル	佐伯理一郎君
臺灣台北東門街甲三號官舍	特賛	松住臨太郎君
千葉縣佐原町佐原内科病院	特賛醫學士	竹中成憲君
廣島市字中島本町九十一		小泉貫君
兵庫縣湊町三ノ十三、産科婦人科院		大島甚馬太君
長野縣上伊那郡美笠與村百八十五		永沼軍治君
長野縣上伊那郡飯田町尋常高等小學校		藤島俊君
千葉縣千葉町五百三十五		大島秀人君
甲府市錦町三番戸	特賛醫學士	川上雅量君
靜岡縣濱松田六十七		鈴木市太郎君
周防國熊毛郡大野村字岡田		福光高之進君
長野縣北佐久郡志賀小學校内		小林喜重君
備後國福山胡町六九		木下榮次郎君
長野縣上伊那郡手良村字中坪		海野鐵吉君
甲府市柳町四丁目四側橋詰		石原紀與造君
岐阜縣安八郡墨俣町	特賛	加野春夫君
甲府市工町山梨縣醫會事務所内	・	武藏秀直君
甲府市下連雀町五十三		池田潔君
大分縣立竹田中學校		齊井純一郎君
肥前國東松浦郡七山村		宮川美芳君
下野國那須郡大山田村小砂		大金謙之助君
武州八王子本町十五	賛特	和田毅賀君
讃岐國高松市北亀井町新井戸		柏原祐雄君
武州八王子町馬乘三十三		淺海春吉君
仝　町入日三丁目		内田源兵衛君
仝　町小門五十三		木住野林太郎君

仝　町八日十三　荒川夏太君
山梨縣山梨病院長　醫學士　高橋良頤君
大阪市東區伏見町山下眼科院　楢崎一雄君
武州八王子町馬乘八十　下田定吉君
千葉縣香取郡古城村鏑木　吉田琢治君
武州八王子町八日九十二　西村彦三郎君
愛媛縣松山病院　特贊　漆原兵吉君
筑後國三池郡大牟田町大字横須　猿渡徹君
武州八王子町横山百十四　藤原吉藏君
新潟市本町通四番町二百二十二　高山新松君
北海道札幌區北一條西五ノ一　加賀美紀君
長野縣下高井郡夜間瀬村　常田叢君
肥前國佐世保市松浦町　一番ヶ瀬健太郎君
青森縣西津輕郡鰺ヶ澤町字七ツ石町四　藤田直鐵君
石見國鹿足郡畑迫村　巖本品二郎君
群馬縣利根郡片品村大字土出村　梅澤藤吉君
千葉縣君津郡小櫃村　根本粂吉君
福岡市行ノ町三十六　小笹文藏君
越後國加茂町　關善三郎君
臺灣台北東門街十三號官舍　松尾宗幽君

終身會員

山形縣西村山郡新宿村　今井政乃子
山形縣東置賜郡屋代村大字竹森六百二　長谷川伊勢子
大阪三軒屋町紡績會社　山邊さだ子
愛知縣春日井村小田井村　松澤たつ子
神奈川縣大綱山　高島くら子
大和國生駒郡法隆寺前　北島三枝子
福島縣福島町　油井なか子
筑前國鞍手郡勝野炭坑　安達芳子

攝津國西須磨郡須磨寺前　樺ゝ高子
清國牛莊横濱正金銀行支店内　中村久眞子
埼玉縣北葛飾郡櫻田村字八甫　渡邊鳳子
京都市上京區塔ノ段櫻木町　和辻愛子
横濱市南太田町　荻原濱子
新潟縣長岡坂上町四十七　山田龍文子
千葉縣銚子町口ノ百四十六　子爵夫人　松前藤子

特別會員

北海道函館惠比須町七　藤野くら子
秋田市中龜ノ町五　神林久榮子
北海道札幌區南二條西三ノ十六、高橋方　山田いま子
岡山縣兒島郡味野村六十八　野崎陸子
福島縣福島町舟場町七　水野とら子
越後國長岡町大字新町　近藤兼子
廣島市佐伯郡己斐村百四十五　竹中春子
甲府市錦町三　川上きん子
岩手縣和賀郡黑澤尻町　古川いよ子
岩手縣盛岡市仙北町五十　佐藤絹子
肥前國佐世保市榮町四十八　中村美根子
府下南葛飾郡吾嬬村大字請地千三　川添香代子
靜岡縣庵原郡興津町清見寺前　加藤由起子
大阪市東區紀伊國番外二百一　池田讓子
相州鎌倉長谷　三橋みの子
府下豐多摩郡落合村大字落合　公爵夫人　近衞もと子
府下豐多摩郡中澁谷七十七　富岡婦美子
長野市花咲町二十三　加藤雛子
府下八王子町本町二十　山崎みと子
横濱市元濱一ノ一　渡邊たま子
府下豐多摩郡西大久保四百四十八　中島榮子

森田富子	大阪市北區網島町
渡邊妙子	府下荏原郡大崎村上大崎三百二十一

い ノ 部

伊藤てつ子	秋田縣仙北郡峰吉川村巡査駐在所
石田たけ子	肥前國佐世保村字福田四番戸ノ五
板垣芳子	大阪東區常盤町一ノ一
岩村玉子	土佐國安藝郡川北村
石黑よし子	安藝國吳市山田字鄕一六八
侯爵夫人 伊藤梅子	相州大磯別莊
石山富子	福島縣若松市榮町一ノ五十六
石川鈔子	三河國豐橋西八町七
石川暢子	讃岐國仲多度郡與北村字西原三百六
石坂きん子	上野國伊香町二十
磯田梅代子	奈良縣奈良上三條町
岩佐くに子	千葉縣印幡郡臼井町江原九四
磯部くに子	横濱市山の内町三ノ八十
石栗とせ子	名古屋市紙漉町一ノ五十一
伊藤れん子	石狩國上川郡鷹栖村字近文四條通九官舍宮部方
岩政律子	臺灣淡水稅關內
岩永しま子	臺灣台北總督府鐵道部い乙二號官舍
石井勢い子	千葉縣長生郡帆丘町本納
岩田きく子	仙臺市北三番町百九
池田ゑい子	大阪北區曾根崎二ノ七百二十三
五十嵐安子	廣島縣典獄官舍
巖崎琴子	相州鎌倉小町關方
石原富貴子	岐阜縣安八郡結村大字西結三百五十八
伊勢よう子	沖繩縣那覇區字西四百四十八
市來いく子	沖繩縣琉球名護高等小學校
石田ため子	府下八王子町八日町四十五

伊藤わか子	府下八王子町本町三十五
飯塚けい子	臺灣台北斗六廳尖山保西與(土地調査局派出所)
稻垣しづ子	朝鮮國釜山港京釜鐵道會社社宅二號
市川ふじの子	長野縣下高井郡平岡村字竹原
池田かう子	仙台市同心町通十二
石田岩子	羽後國平鹿郡增田町
石川定子	大阪市東區谷町一ノ百五十八
猪股はる子	山形縣米澤市免許町千三百六十九
石渡まち子	伊豆國熱海町熱海五百五十七
和泉なか子	伊豆國熱海町坂町

は ノ 部

橋本梅子	周防國都濃郡末武南村大字笠戶港四八三
長谷川きよ子	大阪南區天王寺名ヶ岡狐小路
林久滿子	廣島市大手町五丁目西田病院內
波多野てる子	大阪東區平野町四ノ九十一
橋本多久子	熊本河原町二十五
橋本眞津子	府下荏原郡目黑ビール會社構內
服部繁子	淸國北京公使館內
林榮子	淸國上海武昌路日本郵船會社內
濱田茂美子	高知縣幡多郡宿毛村
半田よし子	岩代國信夫郡飯坂町字横町十九
服部さき子	山形縣山形市旅籠町四百八十四
伴よし子	下總國東葛飾郡八幡町
秦さき子	福岡縣浮羽郡吉井町
橋本貞尾子	山口縣豐浦郡長府村大字河端二一三四
芳賀登多子	丹後國東舞鶴鎭守府官舍丙第四號
林まき子	伯耆國米子町茶町八十九
蓮沼民久子	千葉縣長生郡二ノ宮本鄕村國府關
早川しか子	奈良縣南葛飾御所町代官町

兵庫縣津名郡郡家村四百二十七　春海喜佐子
尾張國西春日井郡清洲町甲五十二　林とう子
長野縣下伊那郡上飯田村百六十八　蜂谷せん子
岡山縣　鋒谷しげの子

にノ部

熊本縣立病院內　西島みれ子
日高國沙流川支廳第一號官舍　西　久子
神奈川背木元町高木山　丹羽貴子
佐賀縣西松浦郡有田町五七四　西岡安子
京都市上京區吉田町高等學校東側　新城わか子
新潟縣南蒲原郡日附町日附病院內　二宮とく子
大阪市東區糸屋町一ノ二十四　新山きく子
臺灣台南廳台南市西轅門街二十　西垣字乃子
渡島國函館區汐見町　西川ふみ子
奈良縣高市郡今井町　西村冬子
長野縣上水內郡日里村尋常小學校內　西澤みきの子

ほノ部

山形縣飽海郡酒田町本町五丁目　本間ふじえ子
橫濱十全病院　本多保無子
長野縣埴科松代有樂町　堀　露野子
京都市土手町エベス川上り　細木とみ子

とノ部

千葉縣印幡郡白井村折立　富澤いく子
福岡市立福岡高等女學校　時岡くめ子
府下日暮里村元金杉二五五　富田たま子
長野縣南佐久郡中込村機現堂丸佐製系社內　東堀安壽子
岐阜縣安八郡祭保町百八十　豐川茂登子
南多摩郡八王子町本町四十六　富澤れん子
秋田縣和田市西根小屋町　戸田たき子
橫濱市尾上町三ノ三十四　鳥居雄子
埼玉縣南埼玉郡八幡村字大曾根　豐田野信子
伊豫國松山市南京町七十四　俊野いわ子
山口縣立山口高等女學校寄宿舍　德富藤子

ちノ部

京都市下東舞鶴字北吸土　千布郁代子
臺灣臺北鐵道部官舍と八二　張　敬子

をノ部

大阪西區立賣堀北通六ノ六　岡田みす子
長野縣下伊那郡飯田町　小澤愼子
長崎縣西彼杵郡高島炭坑社宅　大木珠子
大阪市西區江ノ子島官舍　大村やす子
石見國那賀郡浜田町字新町　尾畑はな子
神奈川縣小田原幸町　長田てう子
名古屋市舍人町二十七　大島織見子
大阪市東區本町一ノ四十　大澤ゆき子
茨城縣眞壁郡下館町　大日方ふ美子
天塩國增毛郡辨天町町立增毛病院內　大木運子
千葉縣市川町五百四十八　大迫墜子
橫濱市北方三百三十七　小山花子
北海道函館區大町二十九　小山よね子
清國上海日本領事館　小田切桂子
山口縣阿武郡須佐村　大岡茂登子
廣島市大手町四ノ十六　岡　數子
安藝國安芸港和庄町字吉江四百五十九　大井上かね子
大阪市南區上本町三ノ十八　岡富かめ子

北海道函館區富岡町二　太田ゑみ子
清國上海法界永安街三德里日商吉隆洋行内　織田ちか子
近江國大津市松本町三百三十三　大谷てう子
長野縣南佐久郡野澤町　岡村まつ子
佐賀縣師範學校女子部寄宿舍　奥村禎子
大阪北區鳴尾町七十一　小野文子
岐阜縣安八郡名森村大字森部百五十四　岡田ます子
茨城縣新治郡關川村大字石川　小坂部せい子
但馬國美方郡湯村　岡田啟子
群馬縣邑樂郡永樂村大舞木　小野すゞ子
南多摩郡八王子町八日一　大谷うた子
南多摩郡八王子町寺町四十二　大久保ゑつ子
佐賀縣西松浦郡伊万里今町　沖田あい子
羽前國米澤市屋代町　大瀧久子
山口縣厚狹郡船木鐘坂高等女學校　岡その子
南多摩郡八王子町八幡八十七　荻島まき子
青森市公立病院内　大西哲代子
南多摩郡八王子町八日六十六　大野みち子
香川縣大川郡鶴羽村九十　小川榮子
南多摩郡横山百二十二　小川ちか子
上野國碓氷郡里見村大字上里見村廿八　岡田せい子
北海道後志國余市町大字富澤町廿三　小鹿とも子
陸奥國三戸郡淨法寺村十五　小田島豊子
臺灣台南市檨仔林街九十一ノ一　大坪庭子
伊勢國宇治山田町立病院看護婦養成所　岡井小春子
新潟縣北蒲原郡松浦村大字荒川　大沼志計子
十勝國帶廣町字西二條北四丁目　大井上よれを子
宮城縣本吉郡鹿折村字浪板二五四　小野寺ふかの子
香川縣讃岐國高松市　岡田寛子

わノ部

神戸市山本通五ノ七十九　和久山きそ子
京都西洞院下立賣下ル　渡邊千施子
南多摩郡八王子町本町八　和田好枝子
熊本市京破分町一　渡邊千賀子
富山縣高岡市鴨島町三十九　渡邊悦子
岩代國河沼郡野澤村　渡邊同子
北海道札幌區北三東三ノ一　若林かめ子
北海道函館會所町二十　渡邊夏子
臺灣台北鐵道部官舍いノ六號　渡部かつ子

かノ部

山梨縣東八代郡石和仲町二百九　鹿兒島きく子
北豐島郡瀧野川村九十六　鹿島いれ子
神戸市葺合村字熊内二千八十九　勝田久米子
相州梅澤大阪町綱麻問屋　梶たき子
富山縣高岡市小馬出町六十三　金森さや子
千葉縣匝瑳郡福岡町　香取千代子
福島縣福島北町三十五　河村孝子
信州北安曇郡神城村　栢原よし子
栃木縣芳賀郡茂木町二百　片岡ちか子
南多摩郡八王子本町一ノ八鹿瀬方　柏原萩子
長野縣東筑摩郡松本町六十六　上條鈴子
長野縣師範學校女子部　門奈矩理子
千葉縣千葉町市場坂下二百六十八　川崎ゆき子
丹後國舞鶴町北田邊百五十一　河村たま子
岐阜縣安八郡墨俣町　加野とも子
滋賀縣大津市下百石町六十六　梶本ちせ子
南摩多郡八王子町寺町十七　神尾きい子
千葉縣長生郡茂原町　加藤彌壽子
府下小笠原島母島沖村第二號官舍　金丸すみ子

神尾留野子　羽後國飽海郡酒田町上臺町
川原みき子　長崎市酒屋町十二第二號
柿沼福子　埼玉縣栗橋町六十六
片岡久壽子　兵庫縣飾磨郡水上村ノ内野里村八四四ノ十一
各務愛子　攝津國有馬郡鹽瀬村ノ内名鹽村
加藤ます子　廣島縣加茂郡川尻村加藤病院

よノ部

横内いわ子　長野縣東筑摩郡島立村百八十五
吉富霜子　長崎縣嚴原宮谷町四十八
横山しん子　兵庫縣武庫郡御影町郡家村
吉田すま子　山口縣下吉敷郡吉敷村
米原とき子　河内國富田林町東林町十九
吉田旦子　北豐島郡日暮里村元金杉二百七十九
吉田ぎん子　南多摩郡八王子町横山三十三
吉村鶴衞子　高知縣土佐郡小高坂村百七十一
米本ちか子　南多摩郡八王子町八日二十二
米山さの子　山梨縣北巨摩郡旭村

たノ部

竹中もと子　千葉縣佐原町佐原內科病院內
田中のぶ子　群馬縣群馬郡箕輪村大字四明屋村百五十五
辰己富野子　肥前國佐世保字泉集歴
丹治春子　長崎縣佐世保港大久保上簿水前
依田つれ子　神奈川縣小田原十字町四ノ八百八十七
高木操子　香川縣高松市三番丁
武田政子　筑後國三池郡大牟田町下里長山
立野陽子　佐賀縣杵島郡北方局朝日尋常小學校內
玉林あや子　長崎市東上町五十九
瀧川みち子　赤間關市關後地村字山ノ口
辰野たつ子　長野縣小縣郡上田町五百二十五
田中藥末子　大分縣豐後國臼杵町四十八
武野つる子　信州松本町二千五
武田りや子　陸奥國三戶郡八戶町大字馬場町一
高木俊子　臺灣台南縣鳳山城內鳳山病院內
高木英子　愛知縣丹羽郡高雄村百五十七
武居はる子　長野縣東筑摩郡松本町字幅上
高橋いとの子　志摩國志摩郡波切村藤兵衞方
多胡ちう子　群馬縣碓氷郡東横野村字中野谷村
竹內寬子　岡山縣英田郡倉敷町二百四十三
武居すほ子　信州東筑摩郡松本町土井尻八六九ノ內三
高橋いち子　北海道小樽區中宮裡町五
多田政子　山口縣山口町後河原
高橋只志子　岩手縣稗貫郡花卷川口町五五三
田中直子　姫路市北條口三番屋敷
田中い志子　長野市千歲町三十三
武山しう子　岐阜縣稻葉郡日置江村大字茶屋新田
高木と美子　丹後國宮津町鶴賀三十八、三谷方
竹中良子　大阪市東區大川町五十三
谷政子　大阪市東區伏見町二ノ一
谷良子　大阪市東區伏見町二ノ四十九
田邊安子　奈良市縣立高等女學校
武內つれ子　福岡市下土居町二十六
谷合惠喜子　南多摩郡八王子町寺町一
田口喜智子　埼玉縣北埼玉郡元和村北平野
田原富美子　横濱市辨天通四ノ七十五
田野倉こと子　南多摩郡八王子町大横三
高橋ゑつ子　南多摩郡八王子本町二十三
多々良と代子　豐多摩郡中澁谷停車場向南角
田邊芳子　神戶市楠町縣立神戶病院內

南多摩郡八王子町八日四十五　田野倉りう子
南多摩郡八王子町横山三丁目　谷合とみ子
千葉県千葉郡睦村桑橋　立石まさ子
南多摩郡八王子町横山百四十八　平　よれ子
栃木県宇都宮市大寛町二ノ三十　高橋鋭子
埼玉県北足立郡鳩谷町百七十四　田畑和か子
滋賀県東淺井郡速水村大字猫口　武田まち子

そノ部

日高国静内郡下々市村　曽根要子
南多摩郡八王子町本町三ノ三十三　相馬きち子

つノ部

大阪市東區本町一丁目番外一番　角なつ子
京都市　坪井くに子
北海道函館區大町三十三　辻むめ子
長野県長野市千歳町三十二　土屋かの子
相州小田原万年町四丁目　辻村かれ子
丹後福知山町字内記三十六　土屋もと子

ねノ部

北海道札幌區大通四丁目八ノ南側　根岸八重子
山梨県八代石和仲町二百十一　根岸ともゑ子

なノ部

台湾台北西門街二丁目台湾銀行内　長尾せい子
大阪市西區江戸堀北通四ノ三十九　中橋ゑつ子
神奈川県三浦郡豊島村中里七十　中濱辰子
北海道札幌區大通西七ノ三官舎　中根いれ子
南豐島郡澁谷村元中澁谷四十　長森ひて子
岡山県赤磐郡布都美村大字石上四百八十二　長光喜世子
埼玉県大里郡吉見村　長島ひさ子
甲府市代官町三十九　内藤喜千類子
愛媛県松山市小唐人町一ノ十四　中村もと子
長野県東筑摩郡松本町字片端千五十七　那須久江子
山口県佐波郡三田尻毛利家邸内　長井貞子
群馬県前橋市北曲輪町　永井い代子
群馬県前橋市桝生町六號宅舎　長坂けい子
静岡県榛原郡相良町須々木二八　名波なを子
佐賀県立佐賀高等女學校内　永淵政清子
和歌山県西牟婁郡田邊町字榮町南新町　那須よし枝子
丹後國舞鶴軍港北吸官舎乙十四號　中濱千代子
南多摩郡八王子町八日四十四　中島きん子
山梨県東八代郡豊富村大字木原　中澤久野子
沖縄県那覇區字久茂地百四十八　長友勢津子
南多摩郡八王子町八日三ノ六十四　中村しげ子
長野県下水内郡芹田村　中島篤子
長野県長野市大門町五　中島沙子
三重県度會郡宇治山田町大字河崎町　中山ふく子
長崎市西山百十一　中村ちよ子
肥前國口之津大治　楢崎竹子
長野市横澤町乙第一番地ノ内一番　習田文子
伊勢國宇治山田町立病院看護婦養成所　長井やすへ子
兵庫県揖保郡龍野村ノ内碧山村　中原百合子
長野県下伊那郡山本村乙一　中島ろい子
岐阜県立病院内　中島むめ子

むノ部

新潟県刈羽郡閑野町　村山珠雄子
大坂市西區堀江通九ノ五十　村山ふく子

相州横須賀逗ヶ谷鎮守府官舍　向山靜子
横濱市北仲町六ノ八十二、官舍　榛居ちみ子
北海道札幌北三條東三ノ三　梅癸きさ子
南多摩郡八王子町馬乘八、字南横町　向山やす子
房州北條町新宿音尾氏方　村松しん子
岐阜縣海津郡城山村大字上野河戸　村松ふさ子
陸中國稗貫郡大迫町上町六十四　村田ふさ子

う ノ 部

相州三浦郡逗子九百七十一　内田芳子
兵庫縣西須磨字千森　植村妙子
臺灣臺南縣鳳山醫院官舍　鵜飼芳子
越後國中魚沼郡谷内村　内山恭子
伊豫國南宇和郡内海村　浦和道子
神奈川縣横須賀町中里二百四十三　上野延子
南多摩郡八王子町八日四十八　内田せい子
丹後國加佐郡舞鶴町字田邊　牛窪操子
愛媛縣松山市杉谷町二十　漆原せい子

の ノ 部

高知市鷹匠町　野並三穂子
大阪府市東森ノ宮西町六百二ノ第五號　乃木千世子
岐阜縣安八郡大垣町字久瀬川五十　野村三代子
大阪市森ノ宮西町百五　野口貞子

く ノ 部

廣島市鐵砲屋町六十三　日下恒子
神戸市下山手通四ノ百二十七　桑原春子
山形縣西村山郡寒河江町　國井粂江子
長野縣長野市立病院内　桑名まき子
埼玉縣浦和裁判所官舍　黒田音子
臺灣澎湖島醫院　日下靜子
長野縣下高井郡中野町字横町　黒岩ぬい子
大阪西區阿波座一番町百五十　久米はま子
越前國今立郡[illegible]本村　黒田ひさ子
臺灣臺中醫院官舍内　久保田ぶん子
伊勢國宇治山田町立病院　草川はま子
南多摩郡八王子町八日百二　桑原たに子

や ノ 部

安房國長狹郡鴨川町前原十三、二號　安田こう子
伊勢國津市宇治山田町立病院内　安岡やすゑ子
甲府市泉町島田屋裂　山田茂樹子
伊勢國度會郡大湊町　山中三千代子
大阪市中ノ島玉江町一ノ十二　安永菊子
大分縣大分郡大分町百二十三　安田寛子
北海道天鹽國天鹽郡天鹽村澤藤方　山田こう子
大坂市東區南新町一ノ十六　山田たつ子
愛媛縣松山市大字辨天町口ノ一　矢能以瑞子
廣島縣吳港和庄町東本通五二四、次十八　山下きわ子
南多摩郡小宮村西中野　山田福治子
長野市三菱造船所八軒屋社宅　山田小里子
三重縣河藝郡白木町　山田鉦子
臺灣臺南廳内　山本兎喜子
愛媛縣越智郡今治町米屋町二丁目　矢野徳代子
千葉縣君津郡木更津町北町千三百四十一　山田千代子
千葉縣茂原郡呂平町　安川いせ子
上野國新田郡太田町　矢頭秀子
南多摩郡八王子町八幡七十九　山住たね子
南多摩郡八王子町元横山七百二十二　八木輪子

長門國赤間關市關後地村園田八　矢田やす子
甲府市櫻町三ノ二百五　山本米子
府下大森八景坂上　山口靜子
薩摩國薩摩郡宮ノ城村　山內芳子
岐阜縣海津郡東江村字大和田　安田定子
長野縣更科郡眞島尋常高等小學校　山口うら子
臺灣臺南市關帝廳街　山崎きく子

ま ノ 部

筑前國嘉穗郡飯田炭坑　松田すゑ子
長崎市引地町十八　每熊かめ子
神戸市下山手通六ノ百六十三　前川てる子
長野市旭町十二　松村ゆきゑ子
長崎市勢渡町官舍　馬淵よし子
茨城縣猿島郡古河町石町　丸山よし子
三河國岡崎町康生　松田順子
福岡市土手町三　松田眞都子
横濱市辨天町三ノ五十三　前田佐多子
神戸市東川崎町二ノ十七　松元信子
神奈川縣横須賀町汐入四百五十二　眞崎登代子
北海道石狩國上川郡鷹栖村近文二條通七　眞崎敏子
伊勢國三重郡羽津山羽津病院內　牧村清子
越中國下新川郡泊町松吉方　松田よし子
南多摩郡八王子町本町五十七　松波すゑ子
鹿兒島縣加治木及土川上チカチ方　松本友代子
府下南葛飾郡大島村大島尋常高等小學校　增田りう子
南多摩郡八王子町馬乘九十　松盛その子
相州鎌倉坂の下星の井　松波好子
豐多摩郡大久保村大字西大久保四四七　前田とよ子
神戸市楠町三丁目　松方龜子

ふ ノ 部

北海道函館船見町五十八　深瀨たか子
朝鮮國京城覺化病院　古城良子
新潟縣新潟市上大川前通十番町六　藤田りた子
大坂市北區堂島濱通四ノ十八　深澤ふく子
鳥取縣西伯郡淀江町　吹野靜江子
府下北豐島郡岩淵村字袋九九二　深井てる子
福岡縣門司市丸山鄕吉岡支店內　藤岡馨子
陸奧國三戸郡八戸町大字番町廿三　藤田たき子
愛知縣愛知郡熱田町大字中瀨八十一　深田幸子
埼玉縣北埼玉郡忍町忍水谷方　布能とみ子
臺灣澎湖島醫院內　藤井もん子

こ ノ 部

靜岡縣庵原郡辻村百六　河野歌都子
新潟縣中蒲原郡橫越村　小林かく子
山口縣三田尻毛利邸內　兒山すみ子
越後國古志郡長岡町大字長岡千手町卅三　近藤ちゑ子
群馬縣前橋市相生町第九號宅　小高糸子
遠江國小笠郡掛川町城內　駒塚元子
長野縣東筑摩郡松本本町三ノ百四十三　小平春江子
栃木縣足利町西の宮　近藤てい子
長野縣東筑摩郡松本町字小柳町內山氏方　小林靜子
橫濱十全病院　駒場常子
山形縣西村山郡左澤御免町　小林さの子
臺灣臺南市大東門街四〇　洪作霖妻銀鸞子
仝　上元會境街　洪作霖母桃涼子
群馬縣碓氷郡里見村大字下里見村二十三　木暮と勢子
南多摩郡八王子町本町三十七　國府田ぎん子
仝　上上野五　小島ゆき子

長野縣更級郡鹽崎村二十三　小林よしの子
兵庫縣養父郡伊佐村ノ内伊佐村五十八　小出裕子
大坂市南區桃谷町二百七十三　國分峯子

ゑ ノ 部

相州鎌倉村木座進藤方　江頭米子
南多摩郡八王子町馬乘三十三　江原とみ子
仝　上　十一　海老原みつ子

て ノ 部

府下荏原郡大井村字鹿島三千百四十四　手塚ふく子
島根縣邑知郡川本町　寺本美代子

あ ノ 部

長野市縣町一今井方　阪澤きくの子
福島縣福島町字上町十三　荒川梅子
豐多摩郡千駄ヶ谷村字原宿百七十八　淺野かま子
豐前國門司市丸山帝國商業銀行社宅　麻生富久子
府下北多摩郡拜島村字上宿　秋山利江子
静岡縣周智郡森町四六〇　青木せつ子
豆州熱海町御用邸内　有川仙子
周防國吉敷郡道場門前六十二　安部京子
横濱市眞砂町三丁目山崎方　天野貞子
大坂市東區今橋二ノ二十五　安東新子
岐阜市上加納養生園　淺野きぬ子
山口縣玖珂郡柳井津町　淺海琴子
南多摩郡八王子町八日町九　秋山花子
南多摩郡八王子八木町八　朝倉縫子
長門國下關市新町一丁目　安達貞子
長崎縣東彼杵郡大村小路　朝長たつ子

廣島縣吳市和庄町　天野知惠子
長野縣下伊那郡飯田番匠町六五五六　秋田いちゑ子

さ ノ 部

筑前國鞍手郡勝野炭坑　佐藤亞子
熊本市京町木町四十二　佐藤繁子
府下荏原郡目黑村大字上目黑二九八　西郷清子
府下北豐島郡王子村千二百八十六　坂野鈴子
宮城縣角田中町　佐村美き子
宮城縣角田中町二百七十四　佐藤たま子
佐世保鎮守府司令長官々舍　鮫島峯子
愛媛縣松山市南堀端町　佐伯みつ子
香川縣大川郡志度町八九八　佐野よし子
和歌山市湊北町二ノ二　澤とよ子
岡山縣赤磐郡五城村大字平岡　坂いくの子
岐阜縣惠那郡坂下村中村屋方　澤米子
山梨縣北巨摩郡若神子村穴平　坂本伊勢子
南多摩郡八王子町八日町十六　齋藤ゑい子
千葉縣東葛飾郡市川町　櫻井和歌子
南多摩郡八王子町八日町二十一　佐藤かつ子
北豐島郡日暮里村千百十四　齋藤ふし子
佐賀縣東松浦郡湊村字相賀　寒水たみ子
長野縣更級郡鹽崎尋常小學校　酒井れい子
山梨縣中巨摩郡龍王木町鹿島派出張所　眞田幹子

き ノ 部

大坂市東區谷町一ノ百十二　北代こう子
群馬縣前橋市北曲輪町五十六　木下睦子
南多摩郡八王子町八日三十九　木村せき子
茨城縣土浦中條町　菊地榮子

和歌山縣海草郡内海村大字鳥居　木村八百千代子

ゆノ部

相州横須賀向山官舍　湯地照子
横濱市壽町三ノ百四十七　結城榮子

みノ部

京都府北桑田郡黒田村　宮橋まき子
神戸市加納町二ノ五　三田あさ子
筑前國嘉穂郡笠松村鯰田炭坑社宅　三浦こま子
上野國新田郡大島村　三浦ふみ子
但馬國養父郡口大屋村ノ内中村　三方東子
仙臺市東三間町四十　三島好子
横濱東北方町五百五十五　箕輪不二子
名古屋市櫻木町二ノ一　三宅鶴子
臺灣臺北府後街民政部官舍よ號　宮木定子
臺灣臺南城內打銀街十六　三宅やへ子
長野縣南安曇郡有明村　三澤さわじ子
南多摩郡八王子町八日三十一　水野鯨子
仝　上大横七十二　宮崎あさ子
靜岡縣富士郡大宮町　諸岡千代子
千葉縣佐倉町鏑木町　水澤たか子
福岡縣門司市棧橋通三井建築場　宮崎かれ子
鳥取縣米子町鐵道作業局官舍　三上學子
新潟縣刈羽郡柏崎下新川町　宮川芳子

しノ部

栃木縣志賀郡栃木町　白澤綱興司子
肥前國東彼杵郡西大村　清水すみゑ子
新潟縣北蒲原郡金塚村大字金子　白勢つて子
岐阜縣山縣郡保戸島村側島　篠田しづゑ子
新潟縣刈羽郡柏崎北角村字四ッ谷　品川いし子
山形縣西村山郡白岩村　白田みを子
神奈川縣愛甲郡厚木町　澁谷さい子
北海道室蘭港本町官舍　白川よう子
對馬國嚴原宮谷町百五　下川けい子
對馬國嚴原中村町十五　澁江伊勢子
對馬國嚴原宮谷町六十六　鹿野とめ子
長崎縣佐世保字長尾赤崎角三百四十六　志水貞子
山口縣佐波郡三田尻毛利邸內　荘原まさ子
熊本縣飽託郡春日村字万日五百二十　柴田ちよ子
千葉縣佐倉町宮小路　宍戸幸子
京都上京區下立賣通西洞院東入　白藤りく子
南多摩郡八王子町八幡二十五　城所さと子
北海道札幌北四條西一ノ二　清水梅子
埼玉縣南埼玉郡久喜町大字久喜　白熊とも子
長野縣更級郡鹽崎尋常小學校內　澁谷そみ子
福井縣敦賀町松榮　繁田よし子
甲府市八日町三丁目　清水ます子
臺灣臺南城內諸街十一　島田政子

ひノ部

富山縣伏木港日本郵船會社支店內　久德喜代子
京都下鴨村四十四　久原あき子
茨城縣眞壁下妻町裁判所官舍　秀島千代子
横濱市元濱町四ノ四十一　日能てる子
新潟縣北蒲原郡中條町五百三十　樋口つや子
熊本町藪ノ內町一、五　秀島はつ子
北海道室蘭港海岸町㈠支店　蛯子那珂子
長崎縣西彼杵郡高濱村百六十　弘生二井子

西多摩郡下莚谷村二八六　葵田糸子
神奈川縣足柄下郡小田原町幸町一ノ百七十七　平井のぶ子
宮崎縣宮崎町大字上別府二九六　平田美知子
福岡縣山川木居留公立病院內　平野とし子
熊本縣飽託郡島崎村字碎場前本方　廣瀬しげ子
長野縣更級郡[illegible]村通明尋常小學校內　平林ふじい子

もノ部

愛知縣葉栗郡淺井町大字東淺井七十三　森濱子
紀州北牟婁郡赤羽村大字島原三　諸戸常子
北海道天鹽國增毛町大字阿分村增毛病院　森岡かつ子
南多摩郡八王子町本町二十三　毛代こま子
福島縣岩瀬村松本村大字下松本　森はつ子
長崎縣南高來郡神代村　母里さら子

せノ部

大坂市東區內久寶寺町二ノ二十五　仙田花子
千葉縣安房郡保田町二七　関野秀子
千葉縣茂原郡昌平町　関根うた子
山形縣山形市新築通二百五十五　関原かめ子
南多摩郡八王子町馬乘十八　関山そよ子
神奈川縣鎌倉字長谷四百二十一　迫水清子
臺灣臺南草花街三十六　瀬はま子

すノ部

山形縣酒田町上蔵町鈴木商店內　鈴木よし子
清國上海橫濱正金銀行內　杉原昌子
佐賀縣東松浦郡相知村相知炭坑　杉木千世子
美濃國安八郡神戸町　杉山千代子
南葛飾郡寺島村元寺島千七百五十八　須藤風子

山口縣吉敷郡山口町字今道千六百四十七　諏訪豐久子
南多摩郡八王子町橫山百六十　須田つれ子
長野縣更級郡鹽崎村三九七　鈴木よしゑ子
南多摩郡八王子町八日町四十五　杉木ちか子
南多摩郡八王子町八日九十　鈴木もと子
北豐島郡日暮里村百五十八　鈴木れい子
兵庫縣川邊郡尼崎町ノ內別所村百三　鈴木喜子

●臺灣會員

臺灣臺北西門外街二ノ六十四　川村ませ子
仝臺北東門街內一號七室　田部龜子
仝臺北東門街內一號六室　山田よね子
仝淡水郵便電信局宿舍　足立くに子
仝臺中郵便電信局　小松はつ子
仝臺北東門街乙四號三室　杉山幹子
仝臺北中路郵便電信局　赤尾ひさ子
仝臺北東門街乙四號七室　青木いろ子
仝臺南土地調査局出張所內　四倉ゆう子
仝臺北城內第二號官舍　原口まつ子
仝臺中縣內森長官舍第三號二室　森田みつ子
仝臺北府後街民政部官舍六號八室　小出歌子
仝臺北城內東門街民政部乙第三號七室　萩野まさゑ子
仝臺北城內東門街內第二號官舍九號　吉谷はる子
仝淡水港新街宿舍　岡田はつ子
仝臺北專賣局官舍十五號　市川うめ子
仝臺北北門街郵便電信局宿舍　山本ふじ子
仝臺北東門街民政部官舍乙三號ノ四　山口かな子
仝臺北東門街民政部官舍內四號ノ四　小笠原もと子
仝臺北東門街乙第四號官舍八室　田中しげ子
仝臺北東門街乙第四號官舍九室　宮崎幸子

●甲府會員

特別會員

甲府市愛宕町百一　増田ちほ子
仝　市櫻町三丁目　石渡きく子
山梨縣中巨摩郡小井川村八十二　向山粂子
仝　市櫻町　權太きん子
甲府市百石町　村松信子
仝　市錦町八十四　小林ひろ子
仝　市錦町二十二　三谷まさ子
山梨縣西山梨郡大宮村舊山宮組　望月りやう子
甲府市富士川町十五　澤田いれ子
仝　市紅梅町三十四　小宮山たれ子
仝　市八日町　三井なか子
山梨縣東八代郡下曾根村　出月たかみ子
山梨縣東八代郡下曾根村　長田れい子
仝　縣仝郡石和村　吉岡富野子
甲府市東青沼五十一　村松さく子
仝　市櫻町四ノ十二　淺堀らく子
仝　市三日町二ノ八十二　赤尾千雄子
山梨縣北巨摩郡多摩村百四十九　小清水とみ子
仝　縣中巨摩郡玉幡村百九十六　篠原よし子
仝　縣北巨摩郡増富村二百八十二　非富守子

仝　鍵富こう子
仝　神尾つや子
仝　吉村きよ子
仝　中村きん子
仝　安原なみ子
仝　坂本いち子
仝　湯原じゆん子
仝　加藤こう子
仝　柏倉ひろ子
仝　田中むら子
仝　長井さと子
仝　古閑初瀬子
仝　佐柳ちよ子

●特別贊成員講師（順次不同）

醫學士　池原康造君
長谷川一登君
名務芳一君
田代亮介君
長井千尋君
醫學士　工藤秀一郎君
小林忍君
醫學士　長谷川寛治君
醫學士　若杉喜三郎君
龜倉正造君
新潟病院長　高橋辰五郎君
中村勇三郎君
黒岩福三郎君
醫學士　淺川正男君

●終身會員

鍵富せつ子
古閑初瀬子
鍵富孝子
鈴木てい子
八木松代子

●特別會員

稲津しん子
奥野すゑ子
松野なほ子
坂本いち子
岡村とらゑ子
鏡たけ子
湯原じゆん子
ミセスカルチス
田村みち子
保倉ちよ子
田中むら子
小柴きく子
佐柳ちよ子
和田くに子
柏倉ひろ子
村岡わき子
横尾ふさ子
越智のぶ子
沼野昌江子
田中ぬい子
安藤新野子
淺川たま子
神尾つや子
山下こう子
プラナンクラ
高橋みな子
安原なみ子

●新潟支會々員姓名

●役員

會長　小柴きく子
幹事　中村しげ子
仝　和田くに子
仝　梅木しづ子
副會長　田中ぬい子
仝　松野なほ子
仝　河上ふさ子
評議員　長谷川せん子

鈴木たけ子
柏田すま子
岩瀬きん子
坂口あさ子
長谷川じゆん子
中村きん子
安宅ふゝ子
田代てふ子
鍵富とき子
小山せい子
星野よし子
稲川さよ子

荻野さい子
高橋たゞ子
吉井さき子
新開加賀子
長谷川うた子
山崎いち子
齋藤かう子
江部さだ子
竹山れつ子
関八重子
宇佐美きち子

加藤こう子
青木たか子
打木けい子
長谷川やす子
高橋さだ子
荒川てい子
佐藤みち子
若杉きく子
八木ゑい子
鈴木とめ子
川口みち子

●通常會員

岩淵せい子
岡田しげ子
河上ふさ子
長野むら子
山本すゑ子
長谷川せん子
石津まさ子
渡邊くら子
多田しか子
松井ふて子
大島しづ子
小澤ぬよ子
中山とう子
松浦とう子
齋藤きい子
町田こと子

羽田ちか子
小布施すみ子
吉村きよ子
中村きん子
青木しづ子
笠原すゑ子
千谷と代子
小川むつ子
中阪とも子
荒井ゑい子
篠原きし子
神林むつ子
工藤とく子
合津やす子
塚野まさ子
松田てつ子

丹羽きん子
酒井とよ子
橋よれ子
梅木しづ子
佐々木かめ子
木村ぎん子
若松よし子
高田せん子
山田はる子
水鳥川きやう子
富岡つわ子
横山かう子
松浦ひさ子
青山つれ子
山崎つる子
近藤よれ子

木村なか子
行形いき子
金井そめ子
堤てつな子
原みほ子
野々山きん子
岡部きく子
清水とよ子
大井榮野子
齋藤らく子
大橋とし子
能勢きす子
和田れん子
中山よし子
鈴木つれ子

宮こう子
長谷川ゆう子
吉住しづゑ子
野口りう子
吉岡ときよ子
工藤せい子
齋藤たま子
片桐くに子
佐藤しん子
木野井ゆきの子
中村しげ子
白勢はな子
海津てつ子
清水くり子
木村たか子

三宅ふて子
丹羽みす子
玉木とも子
石高いし子
長井さと子
松本きと子
清宮たか子
大港いし子
齋藤きく子
亀倉かれ子
中澤とし子
志賀ちゑ子
金坂ひて子
木下てつ子
稲村まん子

●地方ノ部

稲津しん子
本岡なか子
谷みつ子
都筑すが子

●學生ノ部

霧島一枝子

●支會員甲ノ部

岩永ひさ子
大塚ます子
吉田かれ子
山崎しげ子
廣瀬きよ子

石橋きし子
柄澤より子
中田てい子
丸田たか子

花輪しげ子
河野よし子
上原やい子
小林せき子

●支會員乙ノ部

今井千代子
外山やい子
相生みれ子
長坂まん子
中村はつ子
山崎ふさ子
小林せい子
佐藤たか子
若月すみ子
佐藤よし子
板垣まつ子
戸村ふさ子
高田つる子
永井りい子
中村ちよ子
佐藤すみ子
遠藤みい子
三條ひろ子
田中せい子
清水つぢ子
播磨そわ子
尾原きく子
松本はる子
眞部のぶ子
山崎りん子
平野くめ子
河野ふぢ子
澤みき子
後藤ゆき子

●千葉支會

支部幹事 高梨みつ子

太田ちよ子
佐藤はつ子
紅谷ゑつ子
柴田ひさ子
栄島てい子
鈴木くら子
飛田てる子
粟飯原ふゞ子
江川かれ子
鈴木とよ子
小池もと子
長尾ゑん子
小林くみ子
鈴木たい子
岩崎とし子
川島しづ子

●山形支會

●役員

會長
幹事 沖野りう子
仝 中原きゑ子
仝 紺野さた子
副會長 岩本夫人
仝 國井よしを子
仝 北島もと子

●贊成員講師

醫學士特發 北島小太郎君

●特別會員

國井よしを子
關根たか子
加藤陸子
龜山里子
岩木夫人
沖野りう子
西野きぬ子
北島もと子
堀志賀子
植村きよ子
中原きゑ子
小田切とわ子
牧山その子
高橋まさ子
岩本しげ子

●通常會員

黒柳きぬ子
中村さが子
眞木みとり子
沼宮内たみ子
横山千代子
生沼ふぢ子
大山はる子
渥美部麻子
櫻木榮子
栗山きよ子
郷津とみ子
小松崎はろ子
鈴木ます子
紺野貞子
遠山もと子
音山きち子
白田しげ子
工藤せい子
板森ゑい子
小林きん子
松村いく子
後藤まき子
丹とみ子
阿部かれ子
佐藤ふみ子
吉野ふゆ子
草刈こう子
溝尾まさ子
國井さだ子
富澤むめ子
高村ふさ子
大橋あり子
平吹美奈子
近岡ちよ子
西谷ひて子
細谷わか子
高宮あと子
林せん子
堀口きん子
斯波とよ子
渡なほ子
近藤まつ子
小野まさ子
諏訪みよゑ子
菅井久子
大森まつ子
樋口さだ子
石川せん子
吉村こま子
奈良村きく子
高内しげ子
寺田かれ子
大谷かづ子
山岸賀美子
坂入うめ子
高橋やよ子
三橋みつ子
衣川さた子
中村やよ子
津田みち子
濱村きう子
佐治とよ子

●宇都宮支會

會長 石井せい子　副會長 中島とみ子
幹事 高崎うた子
仝 淺田とみ子

●特別賛成員講師

醫學士 淺田次君　醫學得業士 渡字貞君

●特別會員

淺田とみ子

●通常會員

溝部いく子　天野柳子　久保ため子　中里安子　神谷しか子　石田つれ子　田中染子　千葉おや子　田野邊ふじ子　匂坂きく子　加藤まち子　高橋てい子　平松てふ子　内藤小蝶子　柴田つろ子　福井よし子　水野しげ子　篠崎あい子

矢板はま子　高崎うた子　中山きく子　大久保つる子　横山ふく子　行森保司子　町田まち子　梛よね子　小梛うめ子　渡邊吉代子　小林ひさ子　若林從子　渡ふは子　藤井せき子　久保喜美子　知久くに子　青木しか子　船田きみ子

五十嵐けい子　稻葉みつ子　笠原小常子　長野じゆん子　原ちせ子　鈴木よし子　戸田とく子　和田滿喜子　保坂らく子　深谷清子　岩崎はま子　原すが子　吉永こと子　齋藤しん子　須賀染子　齋藤とき子　齋藤よし子　山口きよ子

宇津のふ子　角田うい子　清宮あき子　吉川とみ子　細川たね子　江原きん子　青木みつ子　小川作子　釜井せん子　鈴木かめ子　鈴樹芳子　瀧松まつ子　宇田たに子　須賀くに子　中里やす子

關口ふじ子　齋藤あん子　增淵なみ子　鹿野ゆき子　神野まつ子　中村ふみよ子　三浦たま子　木多よね子　小川のぶ子　千田よね子　尾池すゑ子　星みな子　飯塚せい子　横山ひさ子　潤所越路子

宇津くめ子　大島しん子　大和てる子　山川てい子　手塚りき子　木多さと子　河村やす子　森ます子　瀬尾けい子　半田くに子　佐藤みつよ子　長谷ちよ子　鈴木松江子　增田ちよ子　菊池より子

●茨城支會

會長 河野芳子
幹事 小田うめの子
仝 鈴木はな子
仝 小野まつ子
評議員 櫻井あい子
仝 鈴木せき子
仝 楠原むつ子
仝 矢板はな子
仝 枝ちよ子

副會長 豐田英雄子
仝 加藤志づ子
仝 鹿島のぶ子
仝 五藤ゆかり子
仝 井手のぶ子
仝 池田とよ子
仝 藤本銑子
仝 大井すゞ子
仝 大森志ゆん子

●賛成員

醫學士特賛 波多野惇君　鈴木惠君

小林元茂君
木間包三君
山縣直蔵君
三澤衛君
谷川稻次郎君
後田浩太君
村田博君
關行敏君
桜谷忠君
坂本亨君
神長誠君
山方八十太郎君
久保田悦君
村松正君
秋元洸三君
原寛君
鈴木鉄平君
木田平太郎君
山田芳弘君

●終身會員

嘉納はま子

●特別會員

河野芳子
波多野もと子
内林ふぢ子
枝千代子
毛利ふじ子
古川よね子
山川こま子
田口まさ子
深津まつ子
三田寺みの子
東崎すゑ子
三村いく子
岩田たき子
鹿島のぶ子
豊田芙雄子
木岡てい子
井出のぶ子
櫻井ろい子
長谷川りう子
板垣くめ子
安藤ひで子
長尾ちよう子
川和まさ子
田谷むら子
永岡ふじ子
小田うめの子
加藤しづ子
池田と代子
渡邊あさ子
楠原むつ子
鈴木せき子
中村よね子
指宿ひろ子
三宅たき子
飯田こう子
安松あさ子
横山ふで子
若林すむ子
小野まつ子
田所やす子

●通常會員

大橋ひさ子
大井ふぢ子
藤木銕子
五藤ゆかり子
檜山ひさ子
山中とき子
檜山やす子
黒澤ふで子
山方とし子
木内はま子
茂手木はつ子
阿部もと子
山本せつ子
小瀬よし子
宮木とめ子
矢口とり子
田井はる子
小瀬ふて子
鵜飼たけ子
飯村きく子
岡野さと子
藤田ふく子
大高つる子
大井すゞ子
矢板はな子
宮木とさ子
杉浦たけ子
桜谷かつ子
三宅てつ子
高桑うめ子
谷津なは子
大堤くに子
石川てる子
吉野ふゆ子
今瀬ぎん子
加納はま子
千葉きん子
桑原なな子
片野きよ子
藤尾よし子
福田ふく子
田口とり子
高橋きよ子
小室よし子
大沼こう子
大森げん子
小倉すゑ子
柴田なつ子
鈴木はな子
森戸たけ子
加藤木うふ子
藤田こし子
木島りう子
高見てる子
久保山りう子
松浦かれ子
青木さき子
松橋しげ子
石崎なみ子
飯山まつ子
酒泉たき子
坂入千里子
江幡ふさ子
飯島とり子
横山ひて子
村松ひさ子

●高崎支會

會長 井口徳子
幹事 土谷ひさく子
仝 三橋ひろ子
仝 林磨智子
評議員 横井升子
仝 木下芳枝子
副會長 星野きよ子
仝 大澤ふく子
仝 齋藤れう子
仝 清水かね子
仝 相川すか子
仝 松本恭子

仝 田邊東子
仝 今井ぶん子
仝 相川よね子
仝 栗野まる子

仝 矢島みね子
仝 宮田たか子
仝 馬渡なか子

●贊成員

終身贊成員 岡本六左衛門君
特贊 横井忠國君
反町愼哉君
田部井巳之八君
特贊 秋田聰太郎君

特贊 星野孫光君
特贊 土谷金次君
特贊 白石愛介君
藤平二郎君

●終身及特別會員

終身 土谷ひやく子
特別 木下芳枝子

終身 横井升子
特別 相川よね子

●通常會員

井ノ口德子
栗野まろ子
戸枝梅子
藤巻川鶴子
清水喜代子
深町なみ子
山越千代子
三橋ひろ子
齋藤れう子
深井ちよ子
原川つね子
新堀はる子
綿貫もり子
大山うら子

荘司駒子
宮川たか子
馬渡なか子
清子かれ子
高橋やす子
塚越正子
町田まつ子
水谷蝶子
奥村きく子
森山てろ子
横尾ひさ子
蟻川みわ子
高宮木かね子
秋山たつ子

稲垣蕊々子
今井ぶん子
木多美佐子
福田愛子
大澤ふく子
淺野あき子
篠原せき子
林附智子
深井さゑ子
深井せい子
小野はな子
松木森子
高橋かひ子
佐藤龜尾子

矢島みれ子
財部いく子
吉田とし子
久保村てる子
伊藤梅子
横山こう子
栗木るい子
石井ひさ子
屋代いし子
鈴木清子
木島はん子
篠原みわ子
横網よし子
水戸部きん子
井上げん子
相川とみ子
宮崎よれ子
今井八千代子
柳澤はろ子
阿部むら子
相澤小松子
中島きよ子
今井さわ子
星野きよ子
天野あい子
河部みや子
佐藤せき子
澤田よし子
今村順子
飯塚さと子

岩田まさ子
住谷しず子
關眞子
根門てい子
野木登久惠子
古田友子
山口かの子
利根川ひて子
高橋てる子
新井こう子
木山はろ子
須野ふく子
添田ふさ子
小島きく子
須藤たに子
樋口すみ子
津久居わか子
八木ちよ子
村田とも子
西山朝子
安松きく子
三田くら子
二ツ木ぎん子
島谷宇多子
細谷ゆき子
池田きし子
岡田りき子
石曾根いせ子
田中千代子
小山いく子

大須入重子
木戸のふ子
長谷川りて子
早乙女錠子
相川すが子
金子はな子
芳野千代子
櫻井わし子
武谷せん子
松本うた子
小幡德賀子
信澤たき子
高野農子
關根てる子
岸げん子
古屋はろ子
堤とみ子
大村幸子
宮島ひさ子
小島そと子
松尾好子
山田ふく子
清水あい子
山川はる子
關根とく子
正木操子
松下とり子
小暮木はつ子
神保ゑつ子
鈴木ふく子

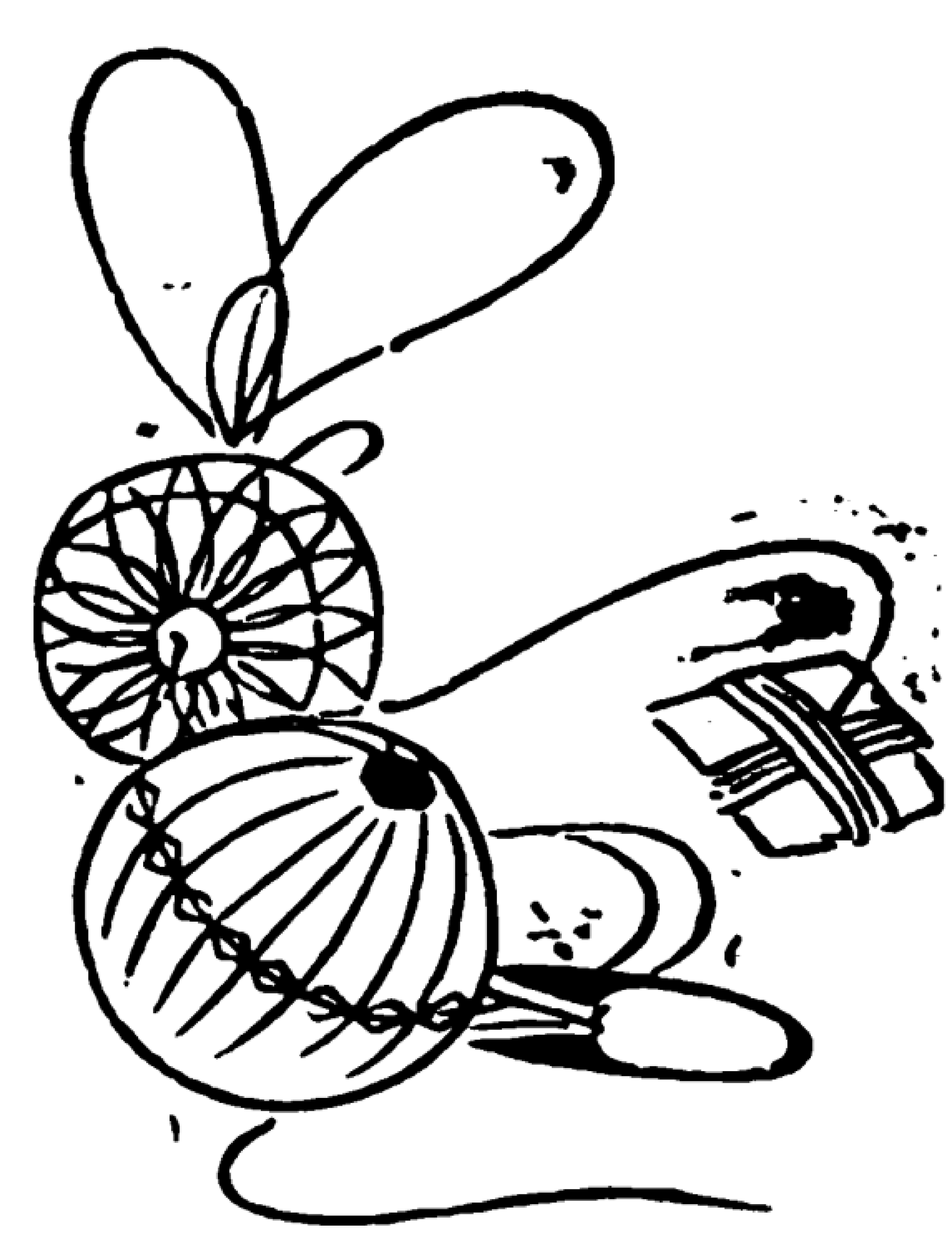
田中れい子	土橋はや子	清水富子
山梨和歌子	伊藤富士子	藤崎きく子
國米てふ子	鈴木久耳子	栗木つな子
中村さだ子	後藤けう子	國峯しか子
中川けい子	清水駒子	坂部米子
中島よね子	内田ゆく子	田口かくの子
新井百子	戸塚民子	秀島ゆき子
巖とみ子	馬場のぶ子	保坂なか子
網垣喜美尾子		

追加

四月中入會者

●本會の部

赤坂區青山南町一ノ四十八	通常會員	大館きみ子
本所區菊川町一ノ四十一	特別會員	岩城みつ子
大坂西區京町堀通一ノ四四	特別會員	福岡幸子
日本橋區本銀町二ノ十二	通常會員	秋谷與志子
赤坂區青山南町六ノ七十八	通常會員	岡島梅子
麻布區三河臺町三十三	特別會員	白石まむ子
臺灣臺南醫院内	通常會員	川田おや子
横濱市青木町三一〇	通常會員	飯野わか子



●懸賞歌募集

紡績の歌

賞品 金十圓及本紙 終身贈呈

現今各紡績を初め各工業會社には何れも校舎を設け盛に工手の教育を施しつゝあり、而して彼等工手を慰すべく教化すべきの唱歌に至りては單に在來の小學校唱歌を僅に準用するのみにして一も工女に課すべき適當なるものを見ず、依て我社は之が恰好なるものを得んとし今回汎く江湖に向て紡績の歌を募集せむとするものなり

募集の歌稿は一々大和田建樹先生の選を乞ふて若し工女をして歌はしむべく好良なるものを得ば之に曲譜を附し之を五月十六日の紙上に披露し尚ほ當選者に對しては前記の賞品を贈呈し名聲を不朽に傳へんとす、世間同好の志士よ、奮て投稿あれ。

募集規定

一歌体は普通唱歌を標準とし、七五調五十句以内のこと、●一用紙は半紙を用ひ明瞭に書すべし、●一募集締切は來る四月三十日限りのこと、●一應募者は住所氏名を明記して大阪市北區西野田新家西の町工手の母新聞社文藝係宛發送のこと、

以上

大阪市北區西野田新家西の町

工手の母新聞社

私立大日本婦人衛生會茨城支會規則

第一條　開設の趣旨及目的　凡人生の幸福を保持するには完全なる教育を望まざる可からず之を望まんとするには必ず衛生と相俟ちて而る後ら始めて全き事を得るならん、されば吾人は現今東京に於る該本部に隈して更に茨城支會を開設し吾人が日常實行する衛生上の事項を以て益研究し益改善を圖りてその發達を互に努め力めんとするに在る而已●第二條　本會は私立大日本婦人衛生會茨城支會として之を當水戸市に置く●第三條　本支會々員たるを望む婦人は何人にても入會することを得●第四條　入會手續は入會の節は氏名族籍住所等を明記し本支會事務所に申込むものとす。但し會員證は東京本部へ通知し然るのち之を交附すと雖も徽章代は豫め前納せらるへし●第五條　會員種類會員を分ちて特別通常終身の三種とす終身會員は一時に金廿五圓以上特別會員は一ヶ月金三十錢以上通常會員は一ヶ月金拾五錢を納むるもの●第六條　男子にして本支會の趣旨を賛成する者は之を賛成員とす其の會費は本支會員に全じ但し本支會に功勞ある者又は本支會に於て賛成員たることを望みたる節は役員の協議に依り無會費とすることあるへし●第七條　本支會員は本部にて毎月發刊する雜誌を無料にて受くることを得●第八條　退會せんとする者は其旨本支會事務所に報知すへし(死亡等は親戚知人より通知せらるへし)●第九條　本支會に左の役員を置く支會長一名、副支會長一名、幹事六名、評議員十名、書記、會計、庶務は幹事中より各二名づゝ互撰分擔す●第十條　役員は任期滿一ヶ年とし每年五月總會に於て投票を以て之を定む●第十一條　本支會長は本會を總理し副支會長は支會長を補佐し會長事故ある時は之を代理し幹事は會務を掌理し評議員は重要なる會務を評議し會計書記庶務各其事に當る(但し書記は都合により定員外のものに臨時依托する事あるへし)●第十二條　集會は例年總會評議員會及臨時會とす集會八月を除く外每月一回第三の日曜日に之を開く總會五月適宜の日を以て之を開く急要の件あるときは臨時會若くは評議員會を開きて評議する事あるへし●第十三條　每會學識經驗ある知名の士に囑托して衛生上の講義演説又は之に關したる實驗談等をも爲し本支會員に聽講せしむ但會員は知人家族等誘引して參會するを得(此際出席の衣服は總て質素たるへし)●第十四條　講義演説等は男子の傍聽を禁ず但し賛成員若しくは會員の緣故ある男子は此限りに非ずと雖も本支會の都合により臨時謝絕することあるへし●第十五條　每會開會の實況等を本部へ通致するものとす●第十六條　會計本支會の所有金は本支會の名義を以て或る百四銀行に預け置くものとす●第十七條　本支會々費の收入金は其一部を便宜本部へ回送するものとす●第十八條　總會に於て會計の收支決算及成績等を報告するものとす●第十九條　會員中若し本會の障害となるへき所爲ある者又は會費を滯納するものある時は本支會長に於て評議會の決議を經て除名する事あるへし●第二十條　茲に記述したる數條の他その必要と認むべき事項あらば成る可く本部の規則を適用するものとす●第二十一條　本支會規則は本支會長の意見又は會員二十名以上の賛成により總會の意見を經るに非ざれば妄に之を變換する事を得ず。

明治三十四年十月創立

水戸市上市田見小路二十五番地

茨城支會

私立大日本婦人衛生會高崎支會規則(明治三十五年四月創立)

●第一條　當支會は大日本婦人衛生會に協し汎く婦人をして人生の健康を保持するの方法を講究し衛生上の智識を開發せしめ隨て社會全般の幸福を增進するを目的とす●第二條　當支會は大日本婦人衛生會高崎支會と稱し事務所を高崎市寄合町五十番地に置く●第三條　當支會は高崎市及其附近在住の本會々員と支會限りの支會員とを以て組織す●第四條　本會又は支會の會員たらんとする者は住所姓名及び會員の種類を詳記し三個月分以上の會費を添へ申込まるへし●第五條　當支會に於て其の他の補益を與へらるゝ人士を推して講師又は篤志賛助員となす●第六條　當會員にして轉居死亡又は退會の時は速に其旨事務所に通報せらるへし●第七條　支會に左の役員を置く會長一名副會長一名幹事六名評議員十二名●第八條　役員は會員中より公撰し會長副會長は役員中より互撰す又幹事評議員は役員中より會長之を指名す但役員の任期を一箇年とし再撰するを得●第九條　本會の特別賛成員を定員外の評議員とす●第十條　當支會は每月一回談話會を開き每年一回總會を開く者とす總會に於ては講話談話の外役員改撰會務の報告等をなす●第十一條　會員及賛成員の家族並に篤志賛成員は集會に參列するを得但時宜により男子の參列に謝絕することあるへし●第十二條　本會々員は本會費の外別に支會費を要せず支會限りの會員は支會費として一箇月金五錢を出す者とす●第十三條　總て會費の徵收は集會の席上に於てするを例とす但三箇月分以上前納すべし●第十四條　支會の所有金は會員會の名義を以て銀行に預け置くものとす●第十五條　會員又は會員外より金員物品の寄附ある時は之を受納す●第十六條　本會所有の會員物品を慈善事業等に使用せんとするときは衆議に諮るものとす●第十七條　會員は服裝其他を質素にし會合の節は時間等を確實に履行すべし●第十八條　特に此規則に揭げざる者は本會の規則を準用す

事務所　高崎市寄合町五十番地

私立大日本婦人衛生會

新潟支會規則

●第一條 本會は大日本婦人衛生會に倣し婦人衛生の研究を目的とし兼て一般慈善事業を爲すにあり●第二條 當支會の會費は左の六種とす 終身會員一時限り出金貳拾五圓 特別會員毎月金參拾錢 通常會員全金貳拾錢 支會員中毎月金拾錢乙全金五錢●第三條 入會せんとするものは役員に申出て其承認を得べし●第四條 會費毎月拾五錢以上を納むるものには本會衛生雜誌を配布す●第五條 會費は雜誌料として一部を本會へ納め殘金は銀行へ貯蓄して衛生慈善資金とす●第六條 支會には會長一名副會長一名評議員十五名幹事五名理事一名を置く 會長副會長は總會に於て公撰し評議員幹事は會長之を撰任す 各役員の任期は一ヶ年とし再撰するを得役員は總て無給とす●第七條 支會は毎月六日通常會を開き衛生及び慈善に關する演説をなすべし●第八條 毎年一月總會を開き支會の要務を擧行す●第九條 本會は毎年春期懇親會を催し時宜によりては慈善販賣店慈善演藝、等を開くことあるべし●第十條 天災事變に際し慈善救濟を要する場合に於ては特に會員中の有志者より物品の寄贈を募ることあるべし 會員外の篤志者より臨時金品の寄附あるときは役員の協議を以て特待員又は贊成員となすべし●第十一條 一般慈善事業の贊助 天災事變の救濟の事務は役員會の決議により實施するものとす●第十二條 支會々員は服裝其他を質素にし集會の際は成可く綿服を着用すべし●第十三條 特に本規則に掲げざるものは私立大日本婦人衛生會の規則を準用す

明治廿九年四月創立

事務所新潟市學校町二番町四十七
和田くに子方

新潟支會

私立大日本婦人衛生會

山形支會規則

第一條 本支會は私立大日本婦人衛生會々員山形市在住者を以て組織す●第二條 本支會に會長副會長の外幹事四名商議員若干名を置く會長副會長は公撰し幹事商議員は會長之を撰任す 役員の任期は一ヶ年とす●第三條 本支會は毎月一回(第一日曜日)講話會を開き毎年一回(五月)總會を開き 講話の外役員の撰擧庶務會計の報告をなす●第四條 入會せんと欲するものは宿所姓名並に第九條の通り會費を添へ會員に紹介を依賴すべし本支會を退會せんとする時は其旨幹事に申出づべし●第五條 本會々費は會計幹事に納むべし但し六ヶ月又は一ヶ年分新に入會のものは其月より六月又は十二月迄の分を一時に納むべし●第六條 服裝は精誠質素なるを要す上着及羽織は絹布を用ゐるを禁ず

明治三十三年二月四日創立

事務所山形市旅籠町新築四通二百八十九、北島氏方

山形支會

私立大日本婦人衛生會

宇都宮支會規則

第壹條 本支會ハ私立大日本婦人衛生會宇都宮支會ト稱ス●第貳條 本支會ニ會長一名副會長一名評議員拾五名幹事四名ヲ置ク會長副會長ハ公撰シ評議員幹事ハ會長之ヲ撰任ス各役員ノ任期ハ一ヶ年トス●第參條 毎月壹回(第一日曜日)講話會ヲ開キ毎年五月講話ノ外役員ノ改撰庶務會計ノ報告ヲナス●第四條 入會ハ宿所姓名ニ第五條ノ通リ會費ヲ添ヘ事務所ヘ申込ミ又ハ會員ニ紹介ヲ依賴スベシ本支會ヲ脱會又ハ本會ヲ退會セントスル片ハ其旨事務所ニ届出ツベシ●第五條 本會々費ノ外別ニ支會々費ヲ要セズ會費ハ一時ニ六ヶ月又ハ十二月分、新タニ入會ノモノハ其月ヨリ六月又ハ十二月迄ノ分ヲ納ムベシ●第六條 本支會ヘ別ニ支會々員ヲ置キ支會會費トシテ一ヶ月金五錢ヲ納ムルモノトス●第七條 講話會ニ出席ノ節ハ成ルベク家族又ハ知合ノ婦人ヲ誘引シ陪聽セシムベシ●第八條 服裝ハ精誠質素ナルヲ要ス上着及羽織ハ絹布ヲ用フルヲ禁ズ●第九條 特ニ支會規則ニ掲ケザルモノハ本會ノ規則ヲ準用ス

明治三十四年二月三日創立

事務所宇都宮市馬場町
中川ス

宇都宮支會

▲本金庫は社會が忠勇なる戰死の軍人を崇敬するが如く傳染病の豫防救治に從事して遂に其職務に斃れたる官吏、公吏、及看護夫、看護婦に救濟金を贈貽し以て國家が扶助弔慰の及ばざる所を助け社會が慈善事業の之なき缺間を補はんか爲め設立せり

▲本金庫は廣く右の趣旨に適ひたる志士に救濟金を贈貽す而して其贈貽金は大方の義金を集めたる利殖金より支出するものなれば世の慈善家諸氏は金員の多少を問はず奮て寄贈あらんことを望む

明治三十五年十二月廿三日設立認可

財團法人

傳染病救濟金庫

東京市京橋區宗十郎町七番地
大日本私立衛生會内
電話新橋（二一四七）番

▲本金庫は今回「ペスト」病毒に斃れたる故本所病院醫員醫學士横田利三郎氏の遺族に金參百圓を贈貽せり

▲本金庫の前身は明治三十二年大阪市に於て「ペスト」流行の際病毒に斃れたる故檢疫官馬場碩一、醫師山中篤衞、若林啓三氏の遺族に各々三百圓を贈貽せり

▲本金庫は御申込次第規則書類を差出し東京府下は寄贈金受取人を派出す、

明治二十六年四月四日第三種郵便物認可

私立大日本婦人衛生會徽章規程

第一條　大日本婦人衛生會々員は其會員たることを表章するため左の徽章を用ゆ

第二條　會員章は本會幷に支會の集會に出席する場合は勿論襟止兼用の便あるを以て成るべく平素佩用して廣く本會の普及を圖るを要す

第三條　本會徽章は左の實價を以て會員に頒つ





●通常會員章
第三號　メッキ製拾五錢、送費六錢
第二號　正銀製五拾錢、送費六錢

●終身及特別會員章
第一號　壹圓、送費九錢

●入會注意

●御入會の際は三ヶ月以上の會費前納にて申込まるべし會員章は上段記載の實價にて御頒ち申候へども送費とも必らず御前納のこと●東京府下に限り毎月雜誌の配達を兼ね會費領收人を差出すべしと雖も郡部の方は地方會員の部として領收者差出不申候也但東京府下の會員にても會費前納せられ合せて郵送料をも御納付相成候へば雜誌發行次第直ちに郵送可致候●追て支會々員は支會へ會費御納付のことゝす●會費は郵便小爲替にて本會事務所々在の郵便局（東京牛込郵便局）宛振出あるべし又た價格表記通運便、何にても差支なし●會費受領證を要する節は送費として郵券一錢五厘封入せられたし●轉居せられたるときは其の旨必らず本會事務所宛通知せらるべし

●會員御紹介下され候御方には其人數に應じ本會雜誌進呈の事

廣告料　一頁五圓半頁其二分一以下同之　●特別廣告一頁拾圓半頁其二分一以下同之

本誌一部定價貳拾錢

東京市牛込區矢來町三番地中丸、四
發行所　私立大日本婦人衛生會

東京牛込區矢來町三番地
編輯兼發行人　田中徳三郎

東京牛込區市ヶ谷加賀町一丁目十二番地
印刷人　渡邊智

明治廿六年四月二十二日印刷及發行（毎月一回十五日發行）
婦人衛生雜誌第百六拾一號

東京市牛込區市ヶ谷加賀町一丁目十二番地　株式會社秀英舍第一工場印刷